

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Web Client 2023 R2

ユーザーマニュアル



目次

著作権、商標、および免責条項	4
サポートされるVMS製品とバージョン	5
概要	6
XProtect Web Client	6
新機能	6
XProtect Web Client 2023 R2の新機能	6
要件と注意事項	10
受信音声の再生条件	10
プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件	10
ダイレクトストリーミングの要件	10
設定	12
設定	12
ダイレクトストリーミング（説明付き）	13
アダプティブストリーミング（説明付き）	13
外部IDPとXProtect Web Client（説明済み）	14
カメラの録画の管理（説明付き）	14
録画および調査の保存期間と保管（説明付き）	15
受信音声の再生(説明付き)	16
プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）	16
デジタルズームと光学ズーム（説明付き）	18
操作	19
ログイン	19
初回ログイン	19
パスワードの変更	22
ホームページの概要	22
カメラの検索	25
カメラに移動する	25
ライブビデオを見る（説明付き）	27
ブックマーク（使用）	30
ブックマーク（説明付き）	30

ブックマークの詳細を表示するか、ブックマークのビデオクリップを再生する	31
ブックマークを追加または編集する	33
ブックマークを削除	37
ブックマークをフィルタリングする	38
ライブモードで受信音声を再生	42
1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用	43
ライブビデオ内の複数のカメラに音声を配信する	43
再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）	44
1台のカメラから録画を再生する	46
ビデオ録画における音声の再生（説明付き）	48
複数のカメラからの録画映像（説明付き）	49
再生するビデオの時間を指定する	51
再生をオンまたはオフにする	55
再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。	55
調査エリア内のカメラ（説明付き）	56
タイムラインを使用した調査（説明付き）	57
1つかそれ以上のカメラで調査を作成する	58
カメラを既存の調査に追加	60
既存の調査からカメラを削除する	62
調査を更新または削除する	63
映像のエクスポートとダウンロードを準備する	64
XProtect Web Clientページの共有（説明付き）	67
アラームを表示	67
アクションの有効化	69
PTZコントロール	70
デジタルズームの使用	70
光学ズームの使用（カメラが光学ズームをサポートしている場合）	71
アップグレード	72
XProtect Web Clientのアップデート	72

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2023 Milestone Systems A/S

商標

XProtectはMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/Sは、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

サポートされるVMS製品とバージョン

このマニュアルでは、次のXProtectVMS製品によりサポートされる機能が記載されています。

- XProtect Corporate
- XProtect Expert
- XProtect Professional+
- XProtect Express+
- XProtect Essential+

Milestoneは、上記のXProtect VMS製品の現行のバージョンと以前の2つのバージョンを使用して、本書に記載されている機能をテストします。

新しい機能が現在のリリースバージョンでのみサポートされており、以前のリリースバージョンではサポートされていない場合は、機能の説明にこれに関する情報が記載されています。

下記の廃止されたXProtectVMS製品でサポートされているXProtectクライアントとアドオンのドキュメントは、Milestoneダウンロードページ (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) に掲載されています。

- XProtect Enterprise
- XProtect Professional
- XProtect Express
- XProtect Essential

概要

XProtect Web Client

XProtect Web Clientを使用して以下を実行：

- ウェブブラウザ内でライブビデオとビデオ録画を表示する。



XProtect Web Client では、アプリで表示される時刻情報はコンピューターで設定しているタイムゾーンを引き継ぎます。これにはライブおよび再生モード、アラーム、ブックマークなどで表示される時刻が含まれます。

- ライブビデオやビデオ録画にブックマークを追加する。
- ライブビデオとビデオ録画において受信音声と送信音声を再生する。
 - 1つのカメラからライブビデオを見ている時にプッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能を使用する。
 - ライブモードで複数のカメラに音声をブロードキャストする。
 - 再生モード時に受信音声と送信音声を再生する。
- 調査を作成する。
- 録音/録画された受信音声と送信音声付き/なしのビデオエクスポートをダウンロードする。
- ビデオ監視システムでイベントをトリガーするアクションを起こす。
- 様々なイベントで引き起こされたアラームのビデオを確認します。

新機能

XProtect Web Client 2023 R2の新機能

ブックマーク：

- ブックマークは、**ビュー** タブでレコーディングをモニターしながら、タイムラインから直接表示、編集、削除できるようになりました。詳細については、「[ページ44の再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)」および「[ページ30のブックマーク（使用）](#)」を参照してください。
- このため、ブックマークの詳細の追加/編集の操作性が向上しています。ブックマークしたビデオクリップは、再生モードでビデオ映像を操作する場合と同様にやり取りできます。
- タイムラインをブックマークコントロールを使って、ブックマークしたビデオクリップを逆再生または順再生したり、前または次のフレームに移動したりできます。タイムライン追跡を左右にドラッグして時間的に移動する。

- タイムラインをブックマークにカーソルを合わせ、**Ctrl**キーを押しながらマウスホイールを同時にスクロールすると、タイムスパンにズームインします。
- タイムラインの時間選択ブラケットを使って、ブックマークの開始/終了時間を調整することができます。
- また、タイムラインで時刻インジケータをドラッグしてブックマークイベント時間を変更することもできます。

詳細については、「[ページ30のブックマーク（使用）](#)」を参照してください。

タイムラインのタイムピッカー：

- 新しくなったタイムピッカーは、ライブモードまたは再生モードのどちらからもアクセスできるようになりました。詳細については、「[ページ51の再生するビデオの時間を指定する](#)」を参照してください。

XProtect Web Client 2023 R1の新機能

再生モードでは新しいタイムラインがあります。

- 新しいタイムラインは、録画を素早く検索して発見できる現代的で使いやすい設計になっています。この機能は、1台のカメラと複数台のカメラビューの両方で使用できます。
- 新しいタイムライン コントロールを使うと、ライブと再生モードの間を素早く移行できます。ライブモードでは、タイムラインは非表示になります。再生モードでは、以下ができます。
 - 1台または複数のカメラから録画を再生または送ります。
 - 前または次のシーケンスに移動する。
 - 再生スライダーを使用して、録音/録画内の特定の場所に移動します。
 - 速度スライダーを使用して録画の再生速度を指定する。
 - 時間スライダーを使用して、録音/録画を再生するタイムスパンを指定します。
- タイムラインにブックマークを表示できるようになっています。再生モードでは、タイムラインから直接ブックマークを探し出して、そのアイコンをクリックしてブックマークの詳細を表示したり、ブックマークのビデオクリップを再生したりできます。

詳細については、「[ページ44の再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)」を参照してください。

トップのメニューバー：

- **ライブ**タブは **ビュー** タブになりました。新しい名前は左側のペインの内容と一致するもので、そこにはビューとカメラのリストが含まれます。ライブビデオを表示するには、カメラビューをクリックします。デフォルトでは、ビデオはライブモードで再生を開始します。

左側のペイン：

- ペインの **ビュー**セクションでは、**すべてのカメラ** フォルダー が削除されました。

XProtect Web Client 2022 R3

外部IDPを使ってログインする。

- 外部IDPを使用してXProtectWebClientにログインすることができます。このログイン方法では、基本ユーザーまたはWindowsユーザーに必要なログイン資格情報をバイパスして、アプリへのアクセス許可を得ることができます。詳細については、「[ページ14の外部IDPとXProtectWebClient（説明済み）](#)」を参照してください。

ログイン画面：

- **ログイン画面**のユーザーインターフェースが新しくシンプルになりました。詳細については、「[ページ19のログイン](#)」を参照してください。

新しい左側のペイン：

- 左側のペインは、折りたたみおよびサイズ変更ができます。
- 新しい検索機能は、ビューのリストから無関連の項目をフィルターで除外し、一致する項目をハイライト表示します。
- ペインの[**ビュー**]セクションでは、内部にフォルダーとサブフォルダーのビューがあるリストを含む、[**すべてのカメラ**]、[**プライベート**]、[**パブリック**]フォルダーを表示できます。そこからさまざまなビューに移動したり、単一カメラまたは複数カメラのビデオを表示したりできます。
- ペインの**カメラ**セクションには、内部にカメラグループを含むフォルダーとサブフォルダーからなるリストにカメラグループと関連デバイスが表示されます。そこから、1台のカメラのビデオをライブや再生モードで視聴することもできます。
- リニューアルした**グリッド**ビューを使用すると、カメラの単一ビュー表示でコンピューターの画面全体を使用することができます。
- [**ライブ**]タブを表示していて、特定のカメラグループまたはビューに移動し、その後別の画面に移動するか、ログアウトした場合、再度ログインして[**ライブ**]タブに戻ると、同じカメラグループまたはビューが表示されます。

詳細は、[ページ22のホームページの概要](#)、[ページ25のカメラに移動する](#)および[ページ27のライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照してください。

アラームの通知：

- アプリでどの画面を見ているかに関係なく、アラームに関する通知を受け取ることができます。通知をクリックすると、アラームの詳細に移動します。
- この機能は、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。

XProtect Web Client 2022 R2の新機能

トップのメニューバー：

- **ホームページ**のトップメニュー上部の左側に、グループ化されたすべての機能タブがあります。ユーザーメニューと**その他**メニューは、トップメニューバーの右側にあります（[ページ22のホームページの概要](#)を参照）。

音声：

- **[ライブ]**タブで特定のカメラのライブビデオを表示したり、あるいは音声付きの録画ビデオを再生したりした後、別のタブに移動して、再び**[ライブ]**タブに戻ると、音声の再生が自動的に開始されたり、そのカメラのビデオの再生が続行されたりします。

XProtect Web Client 2022 R1

ブックマーク：

- 特定のブックマークを見つけるため、検索し、フィルター適用を使用できます。ブックマークにフィルターを適用する方法は3通りあります：
 - ブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力することや、ブックマークIDをすべて入力することができます。
 - 指定のカメラを選択できます。
 - 事前設定された時間間隔を選択できます。フィルターとして適用するタイムインターバルをカスタマイズすることもできます。
- 音声がある場合、ブックマークに追加したビデオシーケンスで音声を聴くことができます。

直接ストリーミング：

- この機能はXProtect Professional+とXProtect Express+の環境でも利用できます。

アダプティブストリーミング：

- この機能はXProtect Professional+とXProtect Express+の環境でも利用できます。

要件と注意事項

受信音声の再生条件

あなたのカメラからインカム音声を聞くには、以下が必要です:

- マイクがカメラに付属している。



お使いの監視システムにおけるカメラがマイクを付随している場合、追加の設定は必要なく、音声を再生することができます。カメラツールバーにおける音声アイコンは、音声機能が有効かどうかを表示します。

- 十分なユーザー権限。



受信音声機能へのアクセスは、ユーザー権限によって制限されていることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件

ビデオ管理ソフトウェアのプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用するには、以下が必要です。

- スピーカー付きカメラ。
- ご利用のコンピュータ付属のマイク。



インターネットブラウザがあなたのPCマイクにアクセスするのを許可しなくてはなりません。

- 十分なユーザー権限。



ユーザー権限によっては、プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能へのアクセスが制限されることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

- 安全なインターネット接続（HTTPS）。

ダイレクトストリーミングの要件

XProtect Web Client は、ライブモードでの直接ストリーミングに対応しています。


ダイレクトストリーミングを使用すれば、最大で100本以上のライブビデオをフルHD 30 FPSで同時にモニタリングできます。この機能を使用するには以下が必要です。

- H.264コーデックに対応しているカメラを使用します。
- ダイレクトストリーミング機能をXProtect Web Clientで有効にします（[ページ12の設定](#)を参照）。

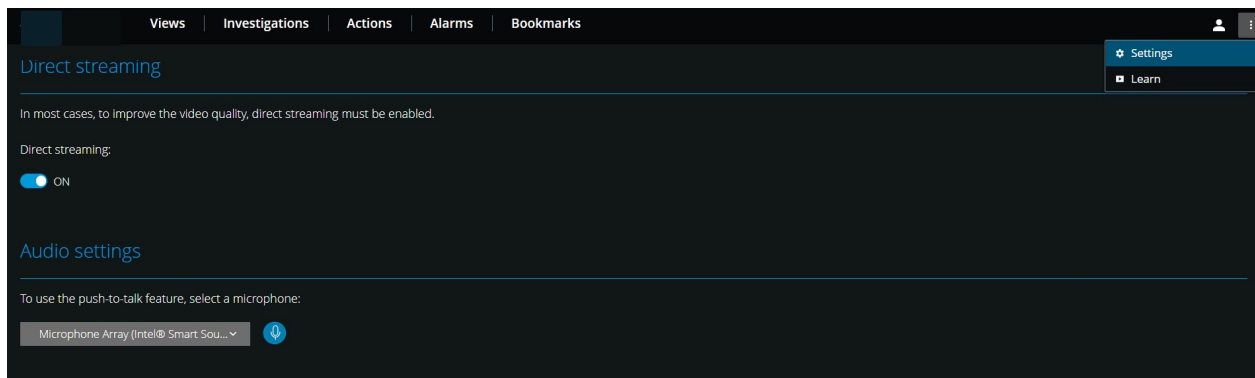
詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。詳細は、XProtect VMSのシステム管理者マニュアルを参照してください。

設定

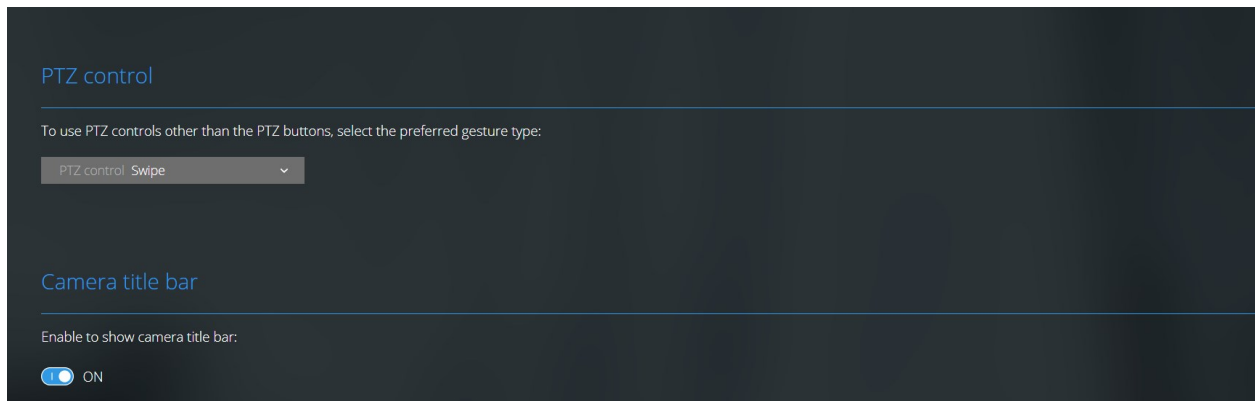
設定

	「XProtect Web Clientをできるだけスムーズに実行させるにはどうしたらよいですか？ また、PTZカメラを動かす他の方法が知りたいです。」
---	--

上部のメニューバーで、[詳細]メニューをクリックしてから[設定]を選択します。



- **ダイレクトストリーミング** - ダイレクトストリーミング機能を有効にします。この機能はデフォルトで有効になっています（[ページ13のダイレクトストリーミング（説明付き）](#)を参照）。
- **音声設定** - XProtect Web Clientがプッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能で使用するマイクを選択します。プッシュ・トゥ・トークアイコンの脈動は、関連する音声デバイスの使用準備が整ったことを意味します。



- **PTZコントロール** - PTZボタンが有効ではない場合は、PTZコントロールに希望するジェスチャーを選択します（[ページ70のPTZコントロール](#)を参照）。
- **カメラタイトルバー** - この設定を有効にすると、カメラのタイトルバーが表示されます。

- **ビデオ診断オーバーレイ** - この設定を有効にすると、選択したビューでビデオストリームのFPS（1秒あたりのフレーム数）、コーデック、解像度、ストリーミングのタイプが表示されます。この機能では、情報がビデオのオーバーレイとして表示されるため、ビデオストリームに関連したXProtect Web Clientの問題や、ローカルパフォーマンス問題のトラブルシューティングの役に立つことがあります。
- **使用状況データ** - この設定を有効にすると、使用状況のデータが提供されます。収集された使用状況データの完全なリストは、「[プライバシーポリシー](#)」というリンクにアクセスして確認できます。

システムを欧州GDPRに準拠するインストールにしたい場合は、データ収集を有効にしないでください。データ保護と使用状況データの収集の詳細については、[GDPRプライバシーガイド](#)を参照してください。

ダイレクトストリーミング（説明付き）

XProtect Mobile は、ライブモードでの直接ストリーミングに対応しています。

ダイレクトストリーミングは、H.264コーデック形式のビデオをXProtectシステムからクライアントに直接転送するためのビデオストリーミング技術です。これは、多くの新型IPカメラでサポートされています。ダイレクトストリーミングにはトランスコーディングは不要なため、XProtectにかかる負荷の一部が軽減されます。

ダイレクトストリーミング技術は、（XProtectシステムにより、ビデオがカメラで使用されるコーデックからJPEGファイルへとデコードされる）XProtectのトランスコーディング設定とは対照的です。この機能を有効にすると、カメラとビデオストリーミングの設定を変更することなくCPU使用率が軽減します。さらにダイレクトストリーミングは、同一のハードウェアのパフォーマンスも向上させます（トランスコーディングと比較して最大で5倍の量のビデオストリーミングが可能）。

XProtect Web Clientでは、ダイレクトストリーミングは単一カメラビューとグリッドビューの両方で使用できます。

ビデオストリームは以下が発生するとダイレクトストリーミングからトランスコーディングにフォールバックしません。

- ダイレクトストリーミング機能がManagement Clientで無効にされたか、要件が満たされていません（[ページ10のダイレクトストリーミングの要件](#)を参照）。
- ストリーミングカメラのコーデックがH.264ではありません。
- ビデオを10秒を超えて再生できません。
- ストリーミングカメラのフレームレートが1秒あたり1フレーム（1 FPS）に設定されています。
- サーバーとの接続、またはカメラとの接続が失われました。
- ライブビデオ中にプライバシーマスク機能を使用しています。

アダプティブストリーミング（説明付き）

XProtect Mobile は、ライブモードでのアダプティブストリーミングに対応しています。

アダプティブストリーミングは、カメラの同一ビューで複数のライブビデオストリームを閲覧する場合に便利です。この機能はXProtect Mobileサーバーのパフォーマンスを最適化し、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientを実行しているデバイスの復号化能力とパフォーマンスを改善します。

アダプティブ ストリーミングを活用するには、カメラに解像度の異なる複数のストリームを設定する必要があります。この場合、この機能では以下のことができます。

- ビデオ画質の最適化 - 利用可能な最も低い解像度（要求したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます。
- サーバーパフォーマンスの最適化 - 要求された解像度を低下させた後、使用可能な最も低い解像度（低下したものと同等またはそれ以上の解像度）を持つストリームが選択されます。
- 低帯域幅用に解像度を最適化 - 利用可能な最も低い解像度を持つストリームが選択されます（3Gまたは不安定なネットワークを使用している場合に推奨）。



ズーム中に要求されるビデオストリームは、常に利用可能なもっとも高い解像度を持つものとなります。



帯域幅の使用はたいいてい、要求したストリームの解像度が下げられるのに併せて減少します。帯域幅の使用は、定義したストリーム構成の他の設定にも依存します。

詳細については、[XProtect VMS管理者マニュアル](#)を参照してください。詳細は、XProtect VMSのシステム管理者マニュアルを参照してください。

外部IDPとXProtect Web Client（説明済み）

XProtect Web Clientは、外部IDPを使ったログインに対応しています。

IDP はIdentity Providerの頭字語です。外部IDPは、ユーザーアイデンティティ情報を保存および管理し、他のシステムにユーザー認証サービスを提供できる外部アプリケーションおよびサービスです。外部IDPはXProtect VMSに関連付けることができます。

XProtect 2022 R3以降は、外部IDPを使ってXProtect Web Clientにログインできます。



XProtectWebClientに外部IDPでログインするためには、HTTPS接続を使用する必要があります。

詳細は、XProtectVMSに関する管理者マニュアルの外部IDPを使用したログインに関するトピックを参照してください。

カメラの録画の管理（説明付き）

ビデオ録画は、**ビュータブ**と**調査タブ**で管理できます。

- ビュータブでカメラビューに移動し、それをクリックしてライブモードでビデオの再生を開始します。タイムラインコントロールから**再生**を選択すると、以下を実行できます。
 - 1台以上のカメラから録画を再生します。
 - ビデオ録画の受信音声と送信音声を再生します（[ページ48のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。
 - 前または次の録画の先頭に移動します。
 - 速度スライダーを使用して録画の再生速度を指定する。
 - 時間スライダーを使用して、再生したい録画のタイムスパンを指定する。
 - タイムラインでブックマークアイコンをクリックして、録画にブックマークを追加する、または追加したブックマークの詳細を表示する。
- [調査]タブでは、以下を実行できます。
 - 1台または複数のカメラからの録画を再生または調査します。



調査モード内で、調査を作成せずに録画を再生したい場合、全カメラの録画映像を、現在のビューでいつでも同時再生できます。

- ビデオ録画または調査に録音された受信音声と送信音声を再生します。
- 再生または調査したい録画の時間を指定してください。特定のビューに含まれるすべてのカメラまたは調査に追加されたカメラに指定された時間が適用されます。
- 録画の時間帯を指定し、詳細な開始日および終了日および時間を設定できます。
- 以下のように、保存された調査を管理できます。状態を更新する、カメラを追加または削除して設定を編集する、調査を削除する、またはビデオ録画をエクスポートおよびダウンロードします。



録画をシステムデータベース内に適切な期間、確実に保存するため、ニーズに合わせて保存期間を設定してください（[ページ15の録画および調査の保存期間と保管（説明付き）](#)を参照）。

録画および調査の保存期間と保管（説明付き）



ビデオ録画の保存期間はXProtect Management Clientで使用できる設定で、システムデータベースに録画を保存する期間を決められます。初期設定の保存期間は7日間です。保存期間を過ぎると、録画映像は削除されます。



保存期間またはデータベースの最大容量を変更したい場合は、システム管理者に問い合わせてください。機能の詳細な説明と、設定および維持管理の手順については、[XProtect VMS 管理者マニュアル](#)を参照してください。

[ビュー]タブと[調査]タブで、保存期間の設定で定義した日数を経過していないビデオ録画を再生できます。

録画が削除されないようにするには、[調査]タブで調査を作成する必要があります。調査を作成すると、録画映像がシステムデータベースから削除されていても、その映像を再生、エクスポートおよびダウンロードできます。



XProtectManagementClientでは、システム管理者はモバイルサーバーに調査を保存する期間を定義できる調査保存期間の設定を有効にすることも可能です。初期設定の保存期間は7日間です。この設定を有効にすると、保存期間の前に作成されていた調査はすべて、削除されます。

調査が削除されるのを防ぐため、ビデオのエクスポートを準備し、お使いになっているコンピュータに調査をダウンロードできます。

受信音声の再生(説明付き)

XProtect Web Client次の場合に入力オーディオをサポートします：

- ライブビデオを見ます（[ページ27のライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）。
- ビデオ録画を再生します（[ページ14のカメラの録画の管理（説明付き）](#)を参照）。

受信音声は以下でも再生できます：

- 調査（[ページ56の調査エリア内のカメラ（説明付き）](#)を参照）。
- ビデオエクスポート（[ページ64の映像のエクスポートとダウンロードを準備する](#)を参照）。
- アラーム（[ページ67のアラームを表示](#)を参照）。
- アクション（[ページ69のアクションの有効化](#)を参照）。
- ブックマーク（[ページ30のブックマーク（使用）](#)を参照）。

プッシュ・トゥ・トーク（説明付き）

プッシュ・トゥ・トークでは、VMSシステムによりPCのマイクからカメラの近くにいる人と交信したり、複数の音声機能付きのビデオカメラに音声ブロードキャストしたりすることができます。また、記録した会話を再生モードで再生したり、ビデオエクスポートの準備中に双方向音声記録を音声パッケージに含めたりもできます。




XProtect Web Clientはプッシュ ツートーク (PTT) 機能に対応しています。


- 1つまたは複数のカメラからライブビデオを見ている間（[ページ27のライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）。
- ビデオ録画に録音された送信音声を再生する場合（[ページ48のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）
- 調査中およびビデオのエクスポート中。
- アクション（[ページ69のアクションの有効化](#)を参照）。
- アラーム（[ページ67のアラームを表示](#)を参照）。



インターネットブラウザがPCマイクにアクセスすることを許可しなくてはなりません（[ページ10のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件](#)を参照）。

プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能を使用できる場合は、カメラツールバーに**プッシュ・トゥ・トーク**ボタンが現れます。そのアイコンは以下の状況を表しています：

アイコン	説明
 (使用可能)	ライブモードで、プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能が使用でき、使用条件をすべて満たしていることを示します。プッシュ・トゥ・トークをスタートするにはクリック & ホールド。音声の送信を終了するには、ボタンをリリース。
 (アクティブ)	ライブモードで、現在プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能が使用中であることを示します。ビデオカメラのPCマイクとビデオカメラのスピーカー またはビデオカメラがアクティブな状態である。ブルーのパルスサークルはサウンドレベルを示しています。
 (無効)	ライブモードでは以下が示されます： <ul style="list-style-type: none"> • プッシュ・トゥ・トーク（PTT）機能は利用できますが、この機能を利用するために必要な要件を満たしていません（ページ10のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件を参照）。 • カメラスピーカーは無効になっています。 • ハードウェアデバイスが無効です。

アイコン	説明
	<p>再生モード時に、ビデオ録画の再生中に双方向音声を再生できること、ならびに再生したい音声ソースを選択できることが示されます（ページ48のビデオ録画における音声の再生（説明付き）を参照）。</p>

ライブモード時のプッシュ・トゥ・トークの割り込みルール

ユーザー権限のレベルに基づいて（システム管理者またはオペレータ）、ライブモードでプッシュ・トゥ・トークセッションに割り込む際のルールが2つあります。

- ユーザー権限が同レベルのユーザーが互いに割り込むことはできません。
- ユーザー権限が低いレベルのユーザー（オペレータ）がユーザー権限が高いレベルのユーザー（システム管理者）に割り込むことはできません。

デジタルズームと光学ズーム（説明付き）

デジタルズームを使用した場合：

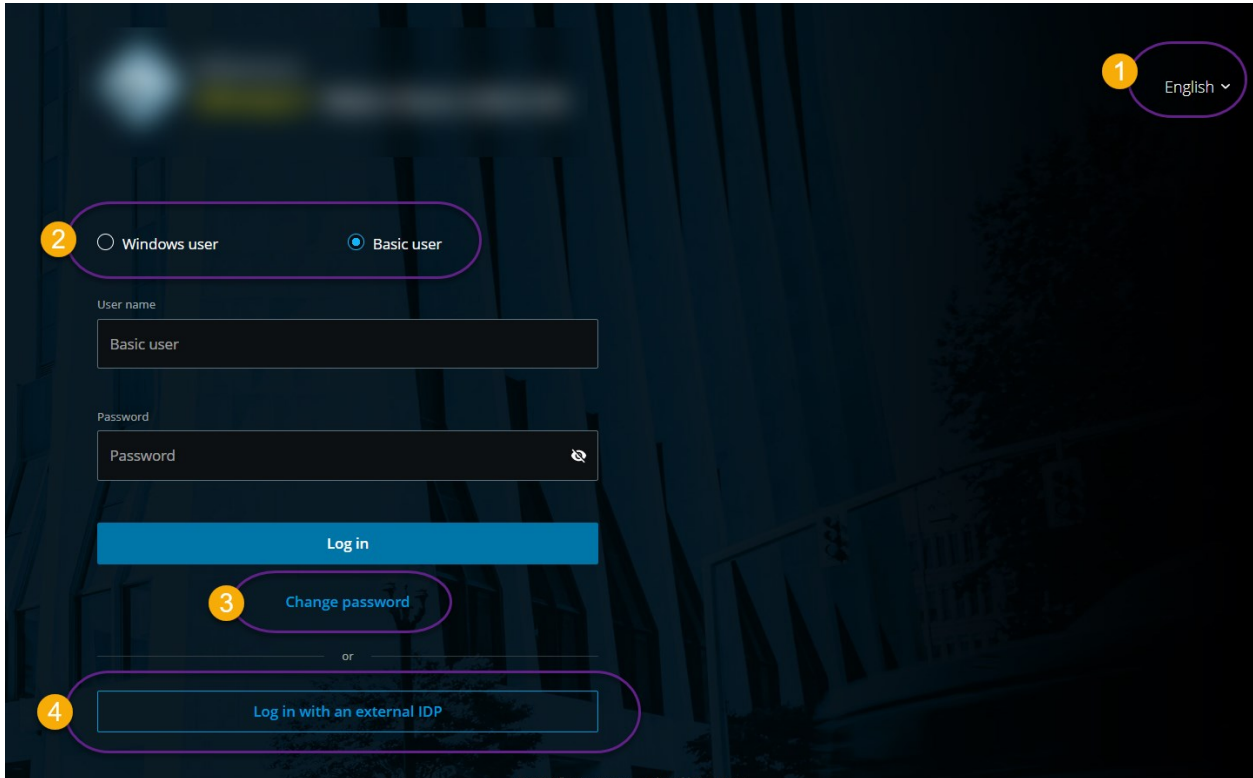
- 画像品質は下がります。ご覧になった画像はピクセル化され、明瞭度が下がります。
- 録画品質に変化はありません。
- 録画のズームレベルに変化はありません。

光学ズームを使用した場合（カメラが光学ズームに対応している場合のみ）：

- ご覧になる画像品質に変化はありません。
- 録画品質に変化はありません。
- 録画の最中にカメラの光学ズームを使用する場合は、ご使用のズームレベルが録画にも適応されます。

操作

ログイン



初回ログイン



Milestoneでは、ユーザー認証情報を管理する際は安全な接続を使用するようお勧めしています。

1. Webブラウザのアドレスバーに、システム管理者から提供されたインターネットアドレスを入力してください。例：<http://1.2.3.4:8081>または<https://1.2.3.4:8082>。ログインページが表示されます。
2. オプション。言語を変更するには、右上隅にある①デフォルトの言語をクリックします。

3. 以下の認証方法のいずれかを選択します²。

- **基本ユーザー** - このオプションを選択すると、基本ユーザーとしてログインできます。基本ユーザーは、システム管理者によってXProtect Management Clientで定義されます。基本ユーザーとしてログインするには、最初に一時的なパスワードを変更する必要があります。
 1. **ユーザー名とパスワード**フィールドで、システム管理者から提供されたログイン資格情報を入力します。
 2. **ログイン**をクリックします。**パスワードを変更**ダイアログボックスが表示されます。
 3. **続行**をクリックして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
 4. **新しいパスワードを設定**ウィザードの指示に従い、新しいパスワードを保存します。
 5. 変更を保存した後、現在のブラウザウィンドウを閉じ、新しいパスワードを使用してXProtect Web Clientにログインします。




システム管理者によって、次回のログイン時にパスワードを変更することが強制された場合、上記の手順に従ってログインしてください。

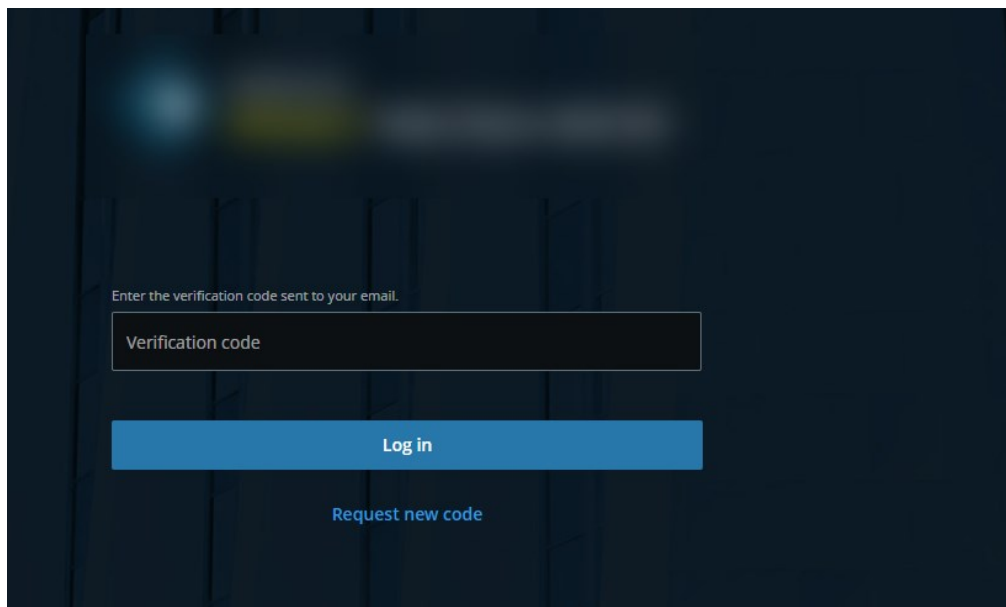
- **Windowsユーザー** - このオプションを選択すると、Windowsユーザー資格情報を使ってログインできます
 1. **ドメイン\ユーザー名およびパスワード**フィールドで、Windowsユーザー認証情報を入力してください。



Windowsユーザー認証情報は、コンピュータまたはドメインに固有です。

2. **ログイン**をクリックします。

- [外部IDPの名前]でログインする  このオプションを選択し、外部IDPでログインします。詳細については、[ページ14の外部IDPとXProtect Web Client（説明済み）](#)を参照してください。
- オプション。システム管理者がユーザーアカウントに2要素認証を設定している場合は、検証コードを入力するよう求められます。このコードは、システムから電子メールアドレスに送られてきます。この認証方法は、ログインのたびに使用する必要があります。詳しくは、システム管理者にメールアドレスについて確認してください。
 1. メールプログラムを開き、番号をメモします。
 2. XProtect Web Clientログインページでコードを入力し、**ログイン**をタップします。



指定された時間内に(デフォルト時間は5分)、認証コードを使用しなければ、その認証コードはタイムアウトになります。その後、コードを入力する画面で新しいコードを要求できます。



コード入力の規定回数を越えると(デフォルトは3回)、ブロックされて入力を試すことができなくなります。ブロックされた場合にはXProtect Web Clientからログアウトし、ログインし直します。



XProtect Web Clientにログインしてブラウザタブを5分以上非アクティブのままにすると、セッションがタイムアウトし、アプリケーションから自動的にログアウトされます。

パスワードの変更



ユーザー認証情報を管理できるようにするには、XProtect VMS 2021 R1以降を使用しなくてはなりません。

パスワードを頻繁に変更すると、XProtect VMSシステムのセキュリティが高くなります。基本ユーザーとしてログインすると、いつでも自分のパスワードを変更できます。対照的に、Windows認証方法を選択すると、システム管理者のみがパスワードを変更できるようになります。

パスワードを変更するには、XProtect Web Client のログインページに移動します：

1. **基本ユーザー**を選択します。
2. **パスワードを変更**リンク **3** をクリックして、新しいブラウザウィンドウを開きます。
3. **新しいパスワードを設定**ウィザードの指示に従い、新しいパスワードを保存します。
4. 変更を保存した後、現在のブラウザを閉じ、新しいパスワードを使用してXProtectWebClientにログインします。

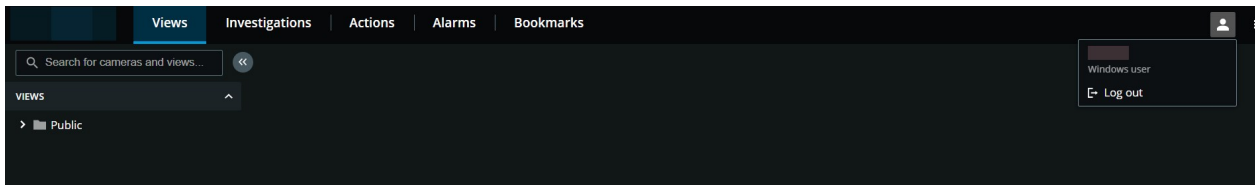


現在のパスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。次回ログインの際にパスワードを変更するようシステム管理者から強制されます。






何度もログインに失敗すると、アカウントはロックアウトされます。ロックアウト時間が切れるのを待つか、システム管理者に連絡できます。システム管理者はアカウントを再び有効にできるほか、次回ログインの際にパスワードを変更するよう強制する可能性があります。

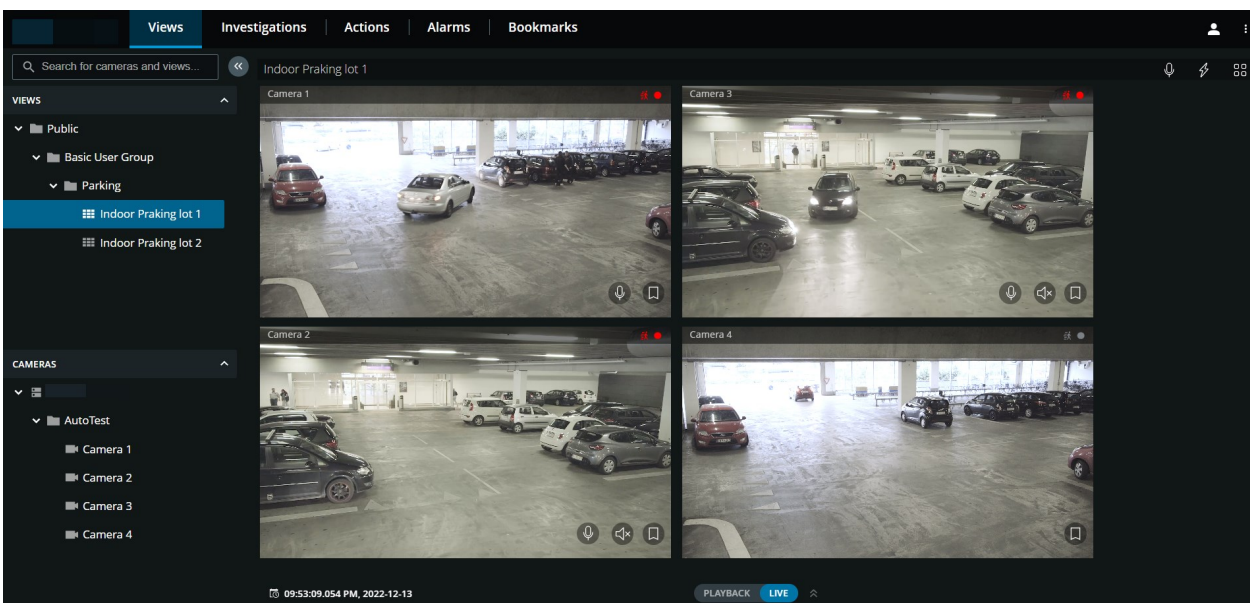
ホームページの概要




上部のメニューバーのタブからは、以下の操作ができます。


メニュー内のアイテム	可能なアクション
Milestoneロゴ	クリックして、XProtect Web Clientの [ホーム] ページに戻ります。
ビュー	<ul style="list-style-type: none"> • クリックしてビューストラクチャー内の最後の位置に戻ります。 • 1台または複数台のカメラからのライブビデオを表示します (ページ27のライブビデオを見る (説明付き) を参照)。 • 1台または複数台のカメラからの録画を再生します (ページ46の1台のカメラから録画を再生するとページ49の複数のカメラからの録画映像 (説明付き) を参照)。
調査	<ul style="list-style-type: none"> • 複数のカメラからの録画を再生します (ページ49の複数のカメラからの録画映像 (説明付き) とページ64の映像のエクスポートとダウンロードを準備するを参照)。 • 調査を作成します (ページ58の1つかそれ以上のカメラで調査を作成するを参照)。
アクション	ドアを開けるなどのアクションを有効にします (ページ69のアクションの有効化を参照)。
アラーム	すべてのカメラからのアラームを表示します (ページ67のアラームを表示を参照)。
ブックマーク	ブックマークのリストを表示します (ページ30のブックマーク (使用) を参照)。
ユーザーメニュー 	XProtect Web Clientを終了する場合は、  をクリックしてから[ログアウト]を選択します。
[詳細]メニュー	[詳細]メニューをクリックして、以下を実行します。

メニュー内のアイテム	可能なアクション
	<ul style="list-style-type: none"> • [設定]を選択して、XProtect Web Clientをカスタマイズします（ページ12の設定を参照）。 • [チュートリアル]を選択して、XProtect Web Clientの詳細を読みます。



左側のペインは、折りたたむことができます。ペインを折り畳むには、 をクリックします。ペインの境界は左または右へドラッグして、調整することもできます。

このペインでは、ペインの各セクションに移動して、以下を行うことができます。

メニュー内のアイテム	可能なアクション
カメラおよびビューの検索 	フォルダー、ビュー、またはカメラを検索する。ビューのリストから、無関連の項目をフィルターで除外できます。一致するビューがハイライト表示されます（ ページ25のカメラの検索 を参

メニュー内のアイテム	可能なアクション
	照)。
ビュー	ライブまたは再生モードで、1台以上のカメラからのビデオを表示します。[ビュー] ペインには、[表示]/[非表示] オプションがあります。プライベートとパブリックフォルダーには、内部にビューを含むサブフォルダーを伴うリストがあります。
カメラ	1台のカメラのビデオをライブまたは再生モードで視聴することができます。[カメラ] ペインには、[表示]/[非表示] オプションがあります。カメラグループおよび関連デバイスは、内部にカメラを含むフォルダーのリストの中で整理されています。

カメラの検索

[ビュー] タブ:

- [カメラとビューの検索]フィールドに移動します。
- フォルダー、ビュー、またはカメラの名前を入力します。テキストを入力すると同時に結果が表示されます。ビューのツリー構造リストから、無関係な項目をフィルターで除外することができます。一致するビューがハイライト表示されます。
- カメラをクリックすると、ライブまたは録画ビデオの追加オプションが表示されます（[ページ27のライブビデオを見る（説明付き）](#)と[ページ46の1台のカメラから録画を再生する](#)を参照）。



お使いのすべてのPTZカメラを検索するには、「ptz」と入力します。全てのマイク付きのカメラを探すには「audio」と入力します。スピーカー付きのカメラを探すには「ptt」と入力します。

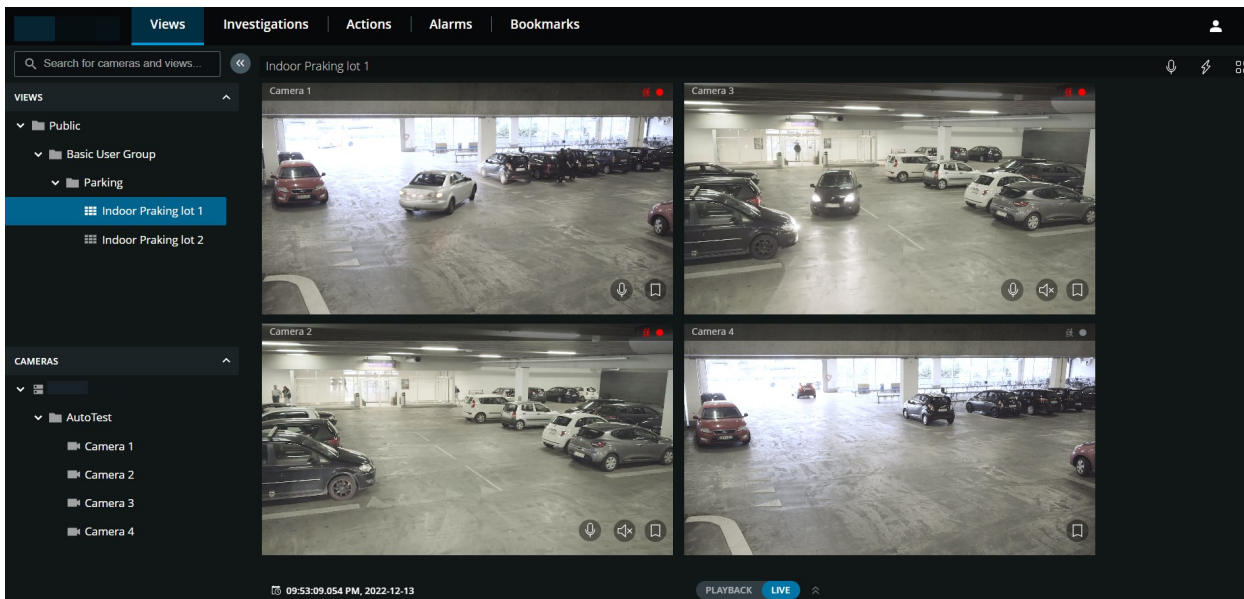


空の検索フィールドをクリックすると、最近の検索リストで過去7回分の検索結果を見ることができます。

カメラに移動する

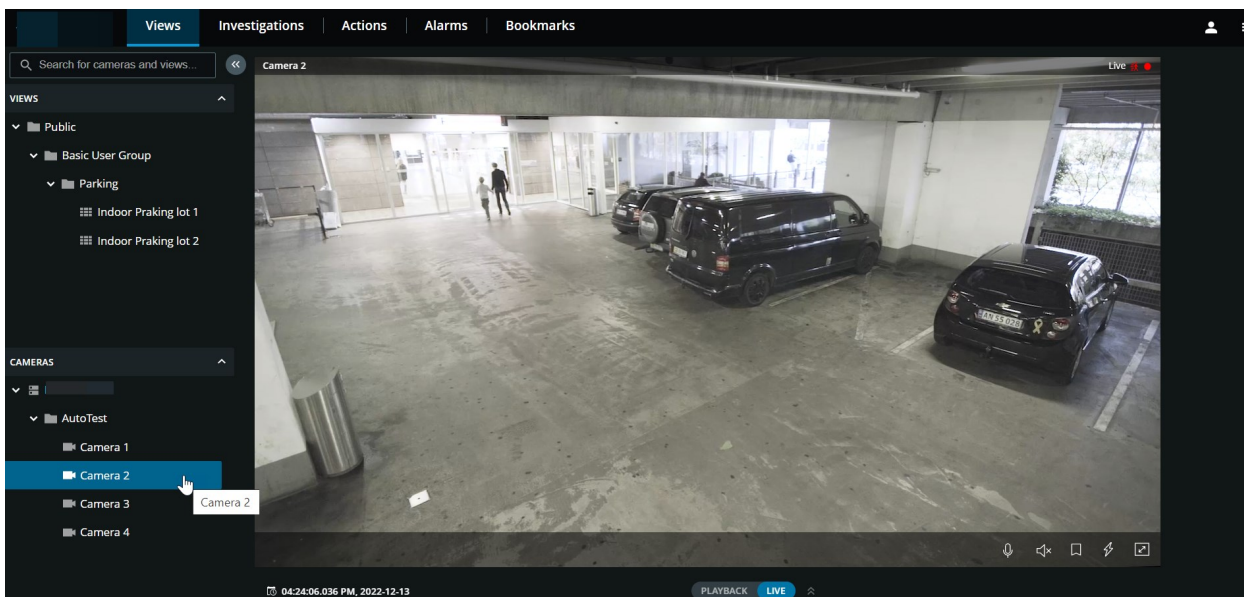
[ビュー]タブの左側のペインからカメラに移動することができます。

[ビュー] ペインセクションで、以下の手順に従います。



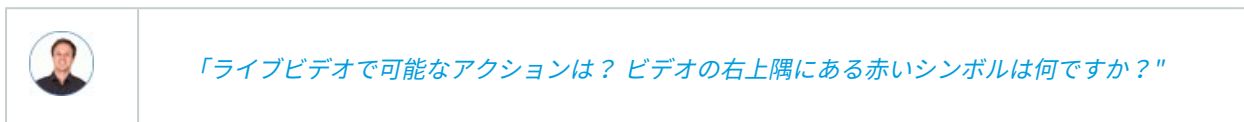
1. フォルダーに移動し、そのサブフォルダーをクリックして、カメラのビューを表示します。
2. カメラがあるビューで、ライブビデオを観る、またはそのビューのすべてのカメラから録画を再生します。どのカメラにマイクとスピーカーがあるかを確認します。また、ライブビデオにクイックブックマークを作成、または録画に詳細ブックマークを作成します。
3. カメラをクリックし、ライブビデオを表示、またはそのカメラからの録画を再生します（[ページ46の1台のカメラから録画を再生する](#)を参照）。

[カメラ] ペインセクションで、以下の手順に従います。



1. カメラを選択し、ライブまたは再生モードでビデオを表示します。カメラにマイクとスピーカーが付いているかどうかを確認します。また、ライブビデオにクイックブックマークを作成、または録画に詳細ブックマークを作成します。

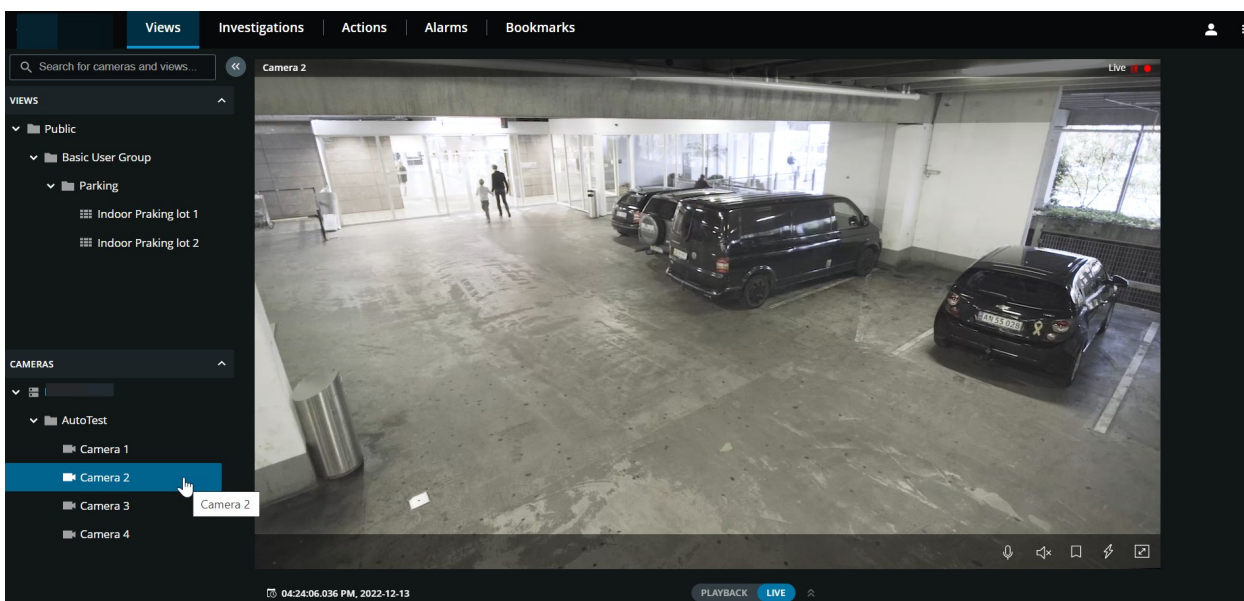
ライブビデオを見る (説明付き)



1台のカメラのライブビデオを見る

ビュータブのカメラペインセクションで、次の操作を行います。

- カメラがあるフォルダーに移動し、表示するカメラをクリックします。ビデオはライブモードで再生を開始します。
- 現在の時間インジケーター上のライブビデオの時間を確認します。



カメラのタイトルバーで、

- カメラの名前を確認します。
- 閲覧中のビデオがライブモードか再生モードかを確認します。
- カメラが動きを検知しているか、ビデオを録画しているか、その両方なのかを確認します。

シンボル	動きが検知されているか？	ビデオが録画されているか？
	⊗	⊗
	☑	⊗
	⊗	☑
	☑	☑

カメラツールバーで:

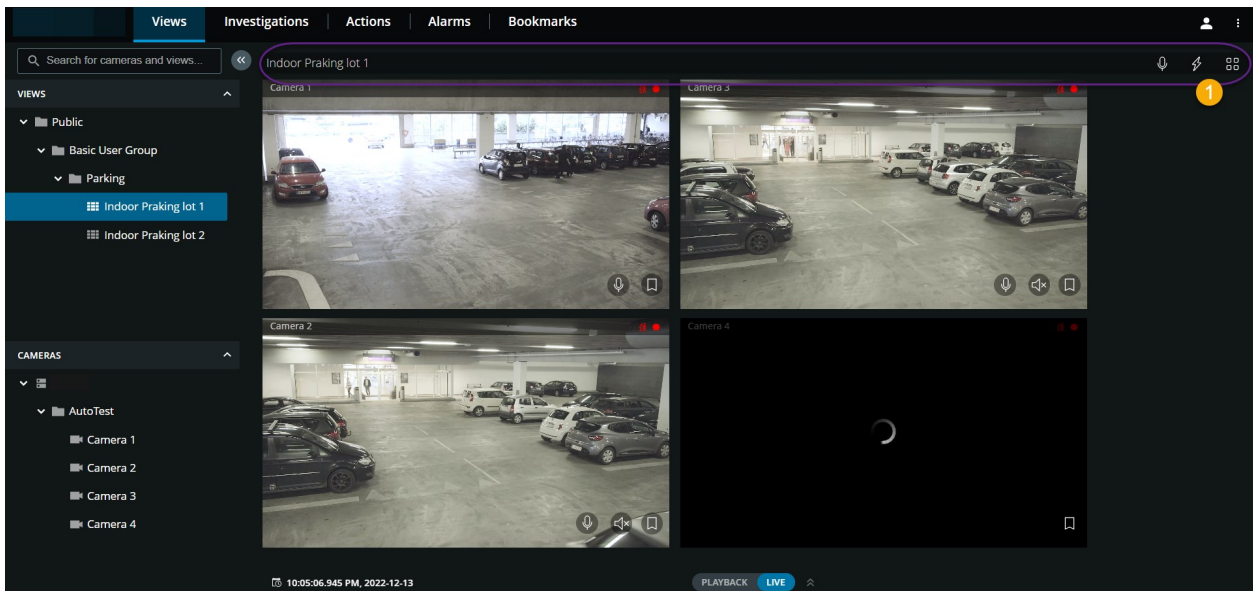
アイテム	可能なアクション
	PTZ カメラを動かしズームする (PTZ カメラに限る).
	PTZ カメラ をXProtect Smart Clientで指定したPTZプリセットポジションに動かす (プリセットされたPTZ カメラのみ)
	受信音声を聞くのを開始するか停止します (ページ10の受信音声の再生条件を参照)。
	1つのカメラへのプッシュ・トゥ・トークをスタートするには、クリックしたままホールドします。音声の送信を終了するにはアイコンをリリースします (ページ10のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件を参照)。

アイテム	可能なアクション
	ライブビデオにブックマークを追加して、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけます（ ページ33のブックマークを追加または編集する を参照）。
	カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
	全画面にします。 Esc を再度クリックまたは押して、全画面を終了します。
	クリックしてタイムピッカーを開き、日時を選択すると、ビデオ内の特定の時点に移動します。（ ページ51の再生するビデオの時間を指定する を参照）。

複数のカメラのライブビデオを見る

ビュータブのビューペインセクションで、次の操作を行います。




- ビューを含むフォルダーに移動し、目的のビューをクリックします。ビデオはライブモードで再生を開始します。



複数のカメラのビューでは、以下の操作が可能です。

- ビューのすべてのカメラからのライブビデオを確認します。
- どのカメラにマイクが付属しているかを確認します。
- どのカメラにスピーカーが付いているかを確認します。
- カメラがモーションを検知しているか、ビデオを録画している、またはその両方であるかを確認します。
- 現在の時間インジケータ上のライブビデオの時間を確認します。クリックしてタイムピッカーを開き、日時を選択すると、ビデオ内の特定の時点に移動します。
- カメラをクリックすると、そのカメラのみのライブビデオが表示されます。すべてのカメラでビューに戻るには、[ビューに戻る] をクリックします。

ビューのツールバー^①上：

- ビュー内のすべての音声装置付きカメラに対して音声のブロードキャストを開始するには、 をクリックしたままホールドします。
-  をクリックして、ビュー内の全カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
- カメラの単一ビュー表示でコンピューターの画面全体を使用する場合は、 をクリックして**グリッドビュー**を開きます。

[ビュー]タブを表示していて、特定のカメラグループまたはビューに移動し、その後別の画面に移動するか、ログアウトした場合、再度ログインして[ビュー]タブに戻ると、同じカメラグループまたはビューが表示されます。



ユーザー権限によっては、制限があるために特定のカメラからライブビデオを表示できない場合があります。

ブックマーク（使用）

この機能は、特定のXProtect VMS製品でのみ使用できます。すべての機能に関するリストをご確認ください。リストは、Milestoneウェブサイト（(<https://www.milestonesys.com/solutions/platform/product-index/>)）の製品概要ページで提供されています。

ブックマークでは、目的のビデオシーケンスをすばやく探し出すことができます。この機能は、ライブモード（[ページ27のライブビデオを見る（説明付き）](#)）を参照）と再生モード（[ページ46の1台のカメラから録画を再生するとページ49の複数のカメラからの録画映像（説明付き）](#)）を参照）の両方で使用できます。

ブックマーク（説明付き）

ブックマークは、基本的に小さなビデオクリップです。インシデントにブックマークを付けると、システムによって自動的にIDが割り当てられ、ブックマークを作成したユーザーが追加されます。

遅延があっても確実にインシデントが記録されるように、通常、ブックマークビデオクリップには、インシデントにブックマークを付けた時の数秒前から数秒後まで（時間間隔はシステム管理者によって指定されます）のビデオが含まれます。



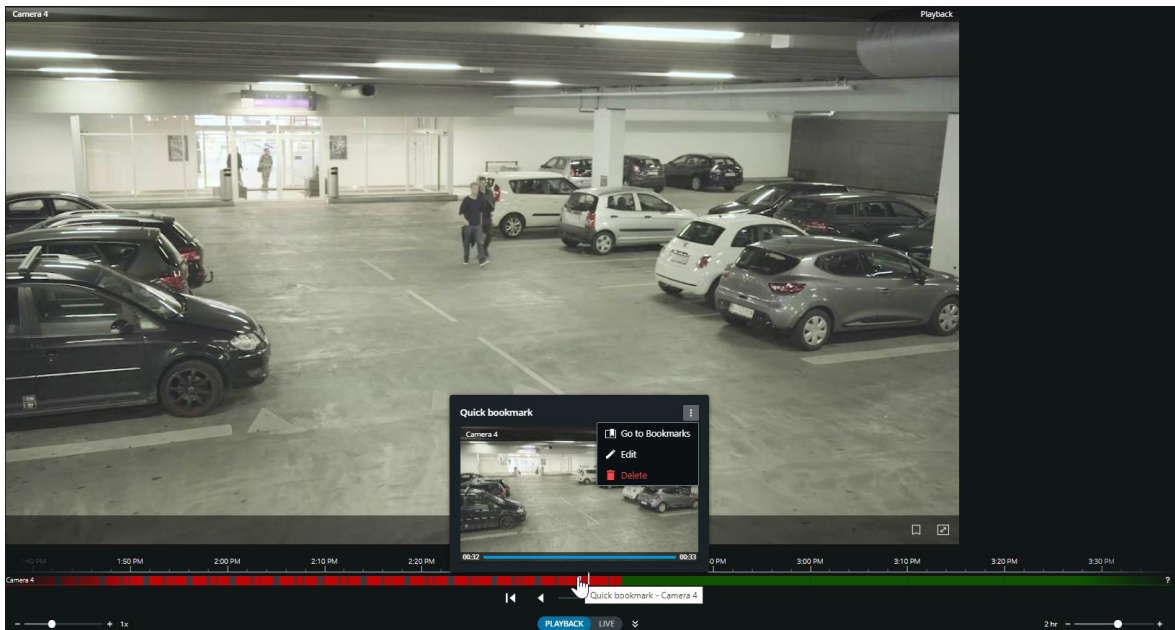
ユーザー権限によっては、制限により特定のカメラからブックマークを追加できない場合があります。ブックマークを追加できない場合でも、ブックマークを表示できる場合があります。その逆も同様です。

ブックマークの詳細を表示するか、ブックマークのビデオクリップを再生する

XProtect Web Clientでは、再生モードで、詳細なブックマークを作成して、作成後にブックマークを検索し易くできます。ブックマークに追加したビデオクリップでは音声も聴くことができます。

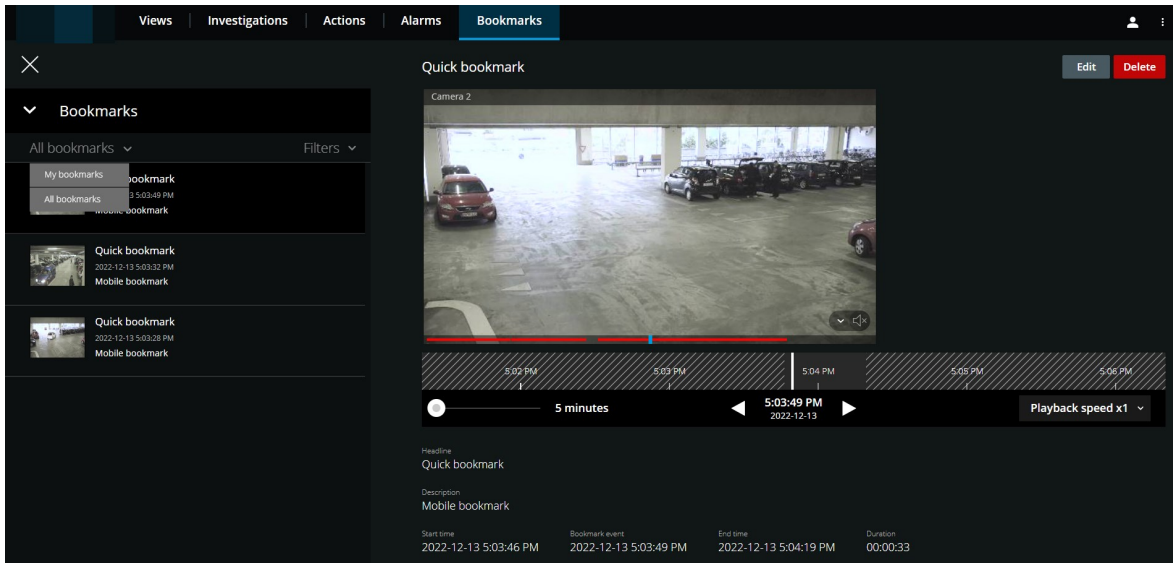
ブックマーク詳細を表示し、ブックマークのビデオクリップを再生するためのステップ



- 再生モードのタイムラインで、表示したいブックマークのアイコンをクリックします。ブックマークプレビューがポップアップ表示し、ビデオクリップが繰り返し再生します。（[ページ44の再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)を参照してください）。



- トップメニューバーで、[ブックマーク] をクリックしてブックマークリストを開きます。

1. [ブックマーク]リストで、すべてのユーザーが作成したすべてのブックマークのリストを開く場合は[すべてのブックマーク]、自分で作成したブックマークのみのリストを開く場合は[マイブックマーク]を選択します。



2. 表示するブックマークに移動して、ブックマークをクリックします。ブックマークの詳細からなるペインが表示されます。
3. オプション。ブックマークのリストが長い場合は、[さらに読み込む]をクリックします。
4. タイムラインでブックマークのビデオクリップを順方向で再生する場合は 、ビデオクリップを逆方向で再生する場合は  をクリックします。タイムラインバーの右下にある[再生速度]リストから、ビデオの再生速度を選択します。タイムラインの左下にあるスライダーをドラッグして、ブックマークのビデオクリップの特定の時間を指定します。

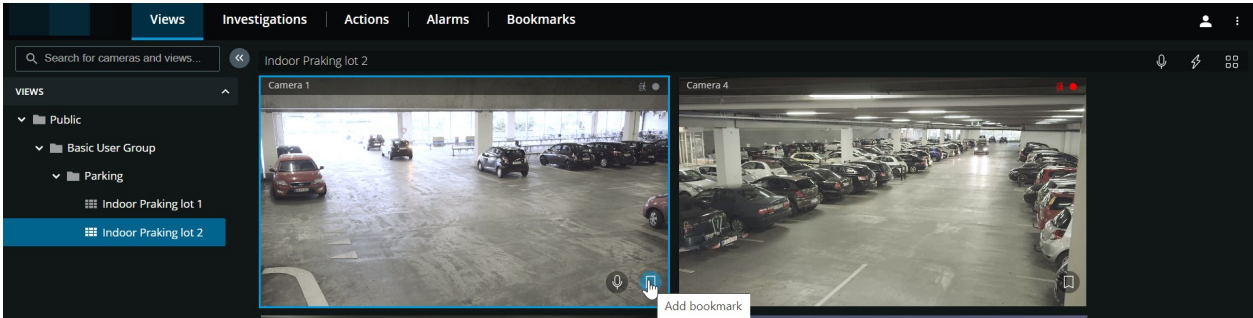
5. 詳細なブックマーク情報を表示するには、以下の手順に従います。


名前	説明
ヘッドライン	ブックマークの題名には最大50文字まで入れることができます。このフィールドは必須です。
説明	ブックマークの追加の説明。このフィールドは任意です。
開始時刻	ブックマーククリップの推奨開始時刻は、ブックマークイベントの開始時刻の数秒前です。開始時刻は、システム管理者が指定します。
ブックマークイベント	ブックマークイベントがトリガーされた時刻を示すビデオクリップの時刻。
終了時刻	ブックマーククリップの推奨終了時刻は、ブックマークイベントの時刻から数秒後です。終了時刻は、システム管理者が指定します。
継続時間	ブックマークビデオクリップの継続時間。
カメラ名	ブックマークビデオクリップをストリーミングするカメラの名前。
ブックマークID	ブックマークに自動的に割り当てられる一意のID番号。
追加した人物	ブックマークを作成したユーザー。

ブックマークを追加または編集する

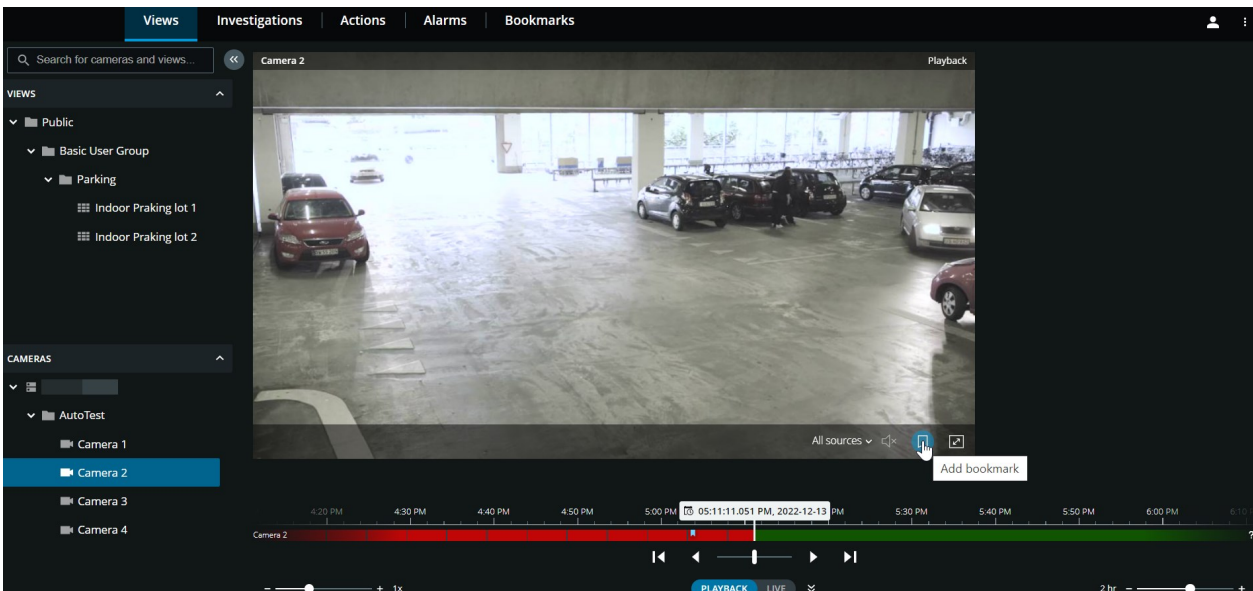
ライブビデオやビデオ録画にブックマークを追加できます。


ライブモードでビデオにブックマークを追加する手順：

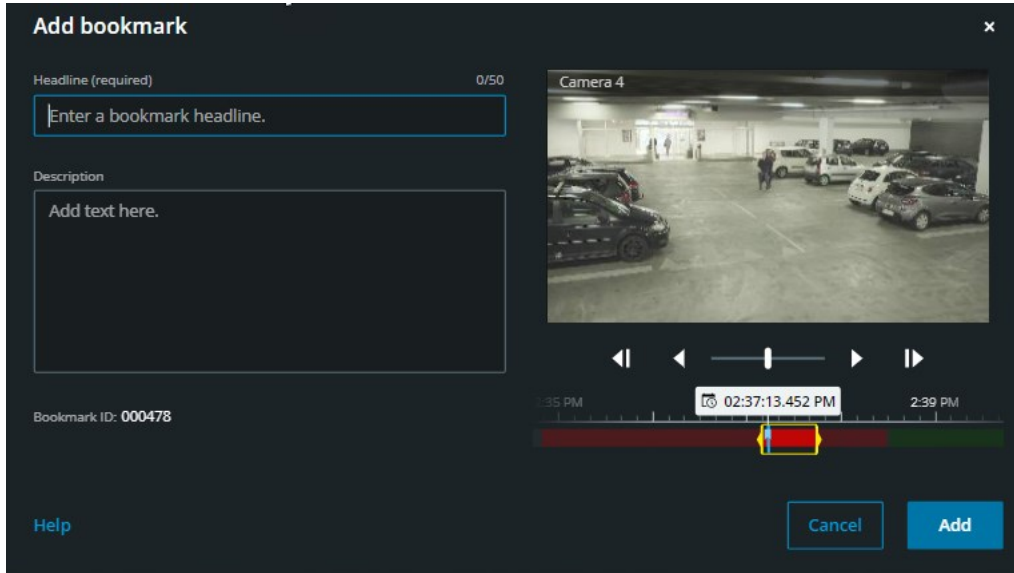


1. [ビュー] タブで、カメラビューを選択してから、ビューに必要なカメラを選択します。
2. カメラツールバーで、 をクリックします。ブックマークは、システムによって自動的に割り当てられたクイックブックマークという名前で追加されます。

再生モードでビデオにブックマークを追加する手順：



1. [ビュー] タブで、カメラビューを選択してから、ビューで必要なカメラを選択します。
2. [再生] をクリックし、再生モードに切り替えます。
3. カメラツールバーで、 をクリックします。ブックマークの追加ウィンドウが表示されます。



4. ヘッドラインフィールドに、ブックマークの名前を入力します。題名には最大50文字まで入れることができます。
5. オプション。説明フィールドで、インシデントについて説明します。

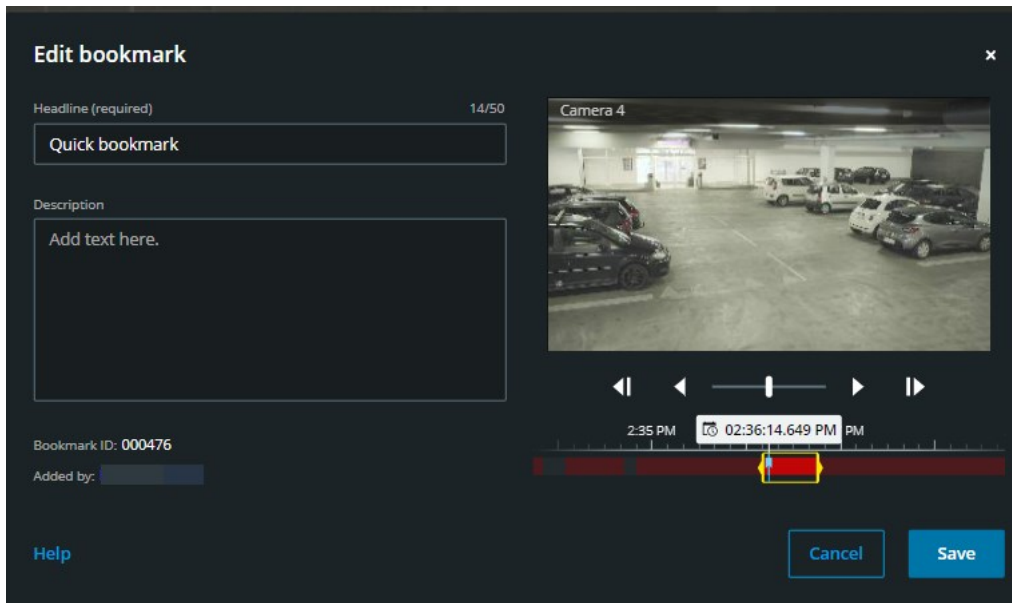
6. オプション。ブックマークイベントの時刻とビデオクリップの開始時刻/終了時刻はシステム管理者によって指定されますが、これらの設定は調整できます。このためには、タイムライン コントロールと時間選択ブラケットを使用します。

アイテム	可能なアクション
	<p>再生スライダーをクリックし、そのまま左または右にドラッグします。再生スライダーを離すと、選択された時間位置からブックマークの再生が開始されます。以下も可能です:</p> <ul style="list-style-type: none"> • タイムライン追跡を左右にドラッグして時間的に移動する。 • タイムラインをブックマークにカーソルを合わせ、Ctrlキーを押しながからマウスホイールを同時にスクロールすると、タイムスパンにズームインします。
	<p>ブックマークのビデオクリップを時間的に逆または順方向に再生する。</p>
	<p>ブックマークのビデオクリップの再生を一時停止する。</p>
	<p>前または次のフレームに移動する。</p>
	<p>黄色の時間選択ブラケットをドラッグして、ブックマークの開始/終了時間を変更する。青色のタイムインジケータをドラッグして、ブックマークイベント時間を変更する。</p>

7. [追加] をクリックします。

ブックマークを編集する手順

- ビュー タブでレコーディングをモニターしながら、タイムラインからブックマークを直接編集できます。
(ページ44の再生モードでのタイムラインの使用 (説明付き)を参照してください)。
- トップメニューバーで、[ブックマーク] をクリックしてブックマークリストを開きます。すべてのユーザーが作成したすべてのブックマークのリストを開く場合は[すべてのブックマーク]、自分で作成したブックマークのみをのリストを開く場合は[マイブックマーク]を選択します。表示するブックマークに移動して、ブックマークをクリックします。ブックマークの詳細を含むペインの右上にある[編集] をクリックします。ブックマークの編集ウィンドウが表示されます。



1. [ヘッドライン]フィールドまたは [説明] フィールドに変更内容を入力します。
2. タイムライン コントロールを使用すると、ビデオの特定の時点に移動できます。
3. 黄色の時間選択ブラケットをドラッグすると、ブックマークの開始/終了時間を調整できます。
4. 青色のタイムインジケータをドラッグして、ブックマークイベント時間を変更する。
5. **保存**をクリックします。

ブックマークを削除

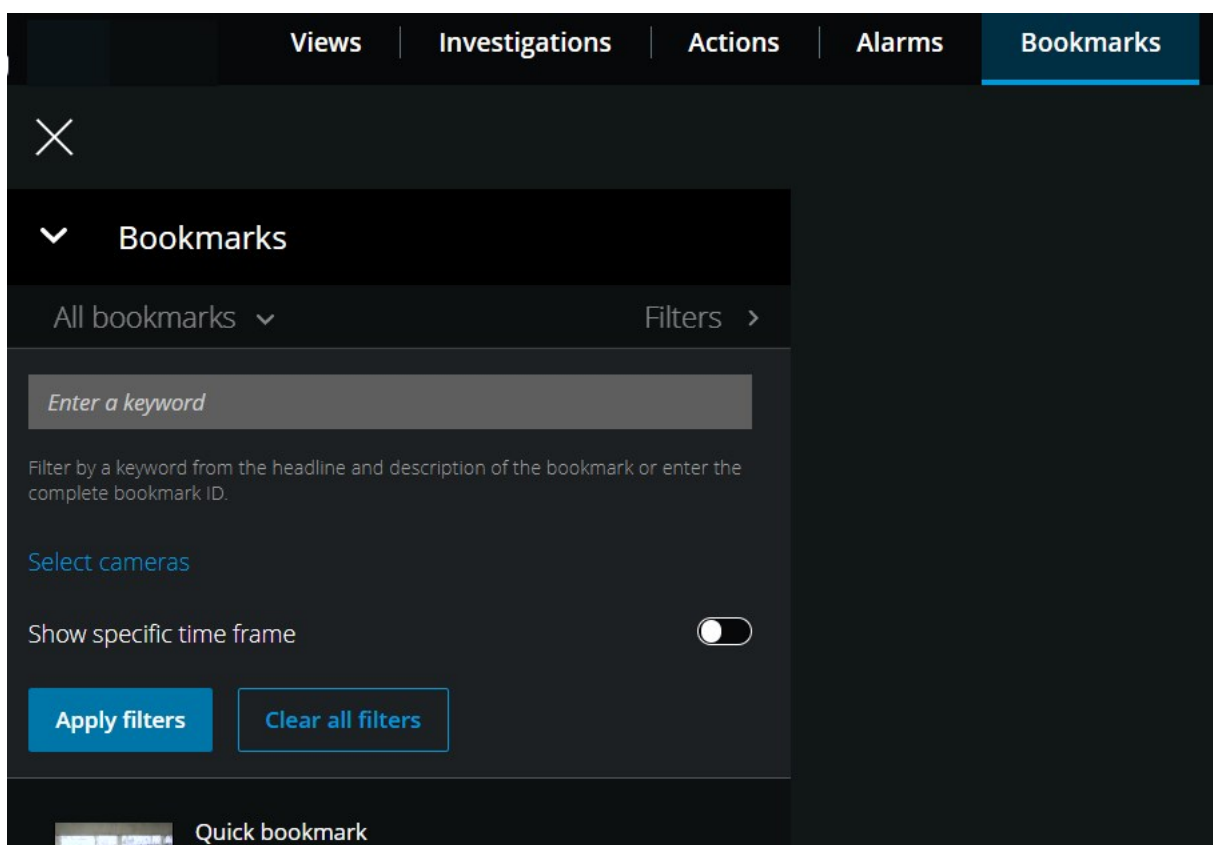
ユーザー権限に応じて、自分自身または他のユーザーが作成したブックマークを削除できます。ブックマークを削除すると、データベースから削除され、アクセスできなくなります。

ブックマークを削除する手順：

- ビュー タブでレコーディングをモニターしながら、タイムラインからブックマークを直接削除できます。
([ページ44の再生モードでのタイムラインの使用 \(説明付き\)](#)を参照してください)。
- トップメニューバーで、[ブックマーク] をクリックしてブックマークリストを開きます。すべてのユーザーが作成したすべてのブックマークのリストを開く場合は[すべてのブックマーク]、自分で作成したブックマークのみをのリストを開く場合は[マイブックマーク]を選択します。削除するブックマークに移動し、ブックマークをクリックします。ブックマークの詳細を含むペインの右上になる[削除] をクリックします。

確認メッセージで、削除をクリックします。

ブックマークをフィルタリングする



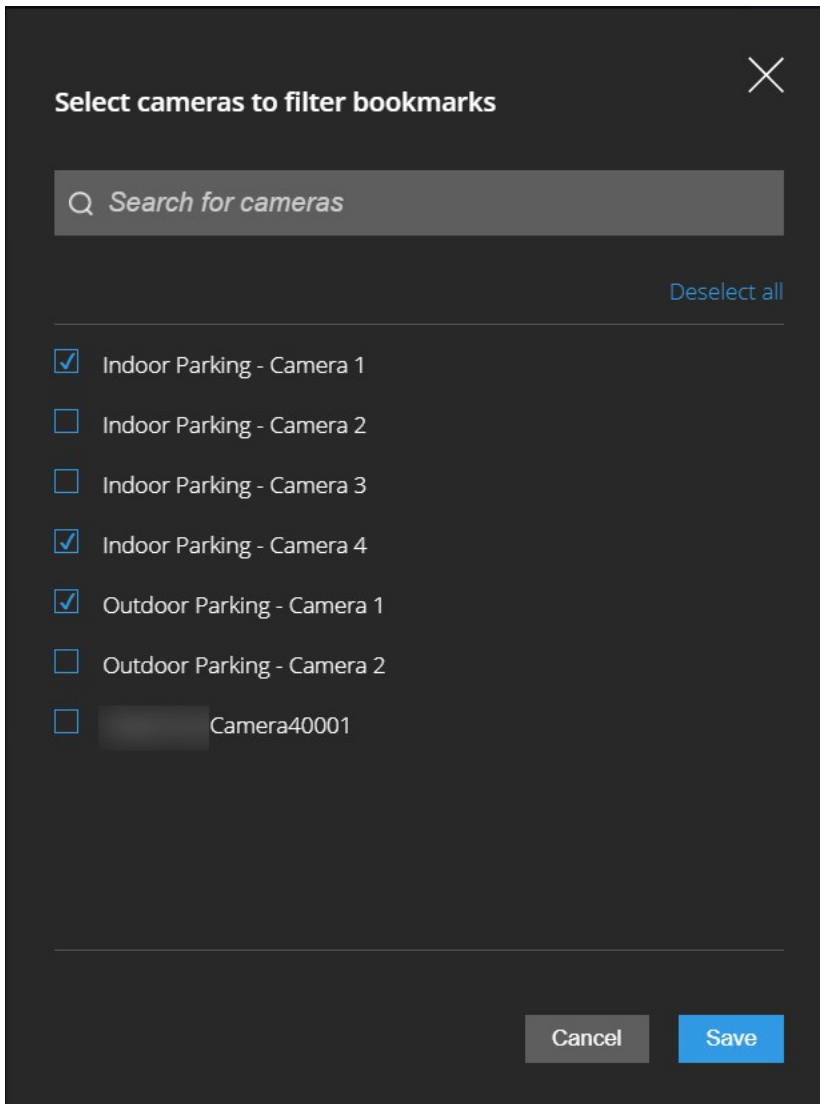
特定のブックマークを見つけるため、検索し、フィルター適用を使用できます。ブックマークにフィルターを適用する方法は3通りあります：

- ブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力することや、ブックマークIDをすべて入力することができます。
- 指定のカメラを選択できます。
- 事前設定された時間間隔を選択できます。フィルターとして適用するタイムインターバルをカスタマイズすることもできます。

キーワードでブックマークにフィルターを適用する手順

1. [ブックマーク] タブで、[フィルター] リストを展開します。
2. [キーワードを入力] フィールドにブックマークのヘッドラインまたは説明に含まれるキーワードを入力するか、ブックマークIDをすべて入力します。
3. フィルターを適用するには、[フィルターを適用] をクリックします。
4. オプション。フィルターの選択を元に戻すには、[すべてのフィルターをクリア] をクリックします。

選択したカメラでブックマークにフィルターを適用する手順

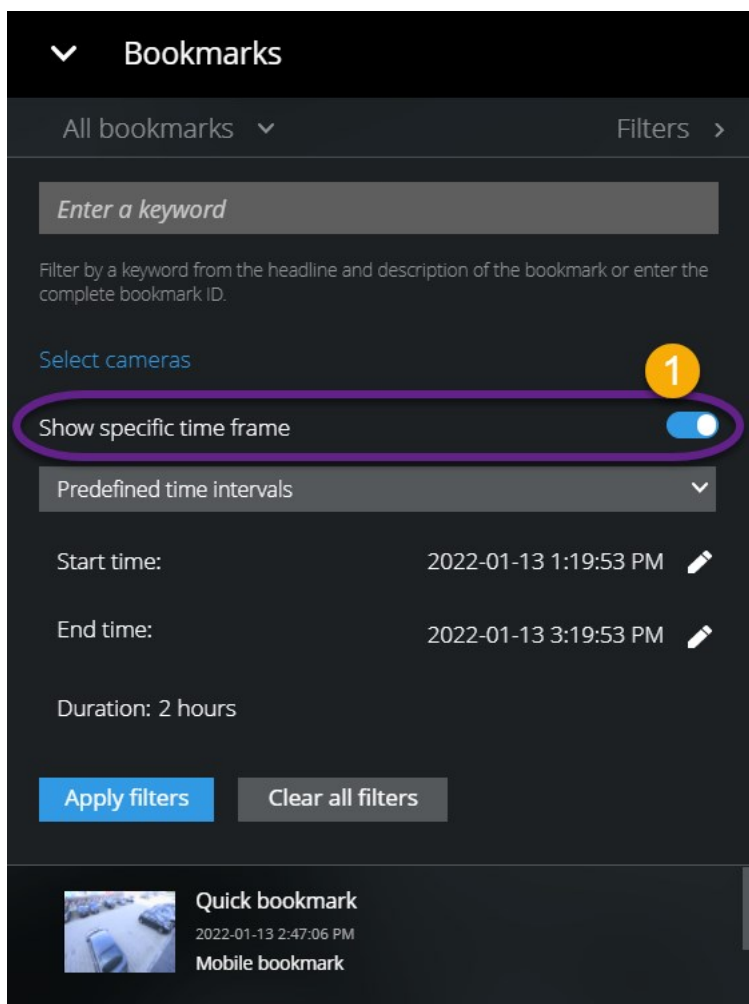


1. [ブックマーク] タブで、[フィルター] リストを展開します。
2. [カメラの選択] を選択します。[ブックマークにフィルターを適用するためカメラを選択] ウィンドウが開き、利用できるすべてのカメラのリストが表示されます。

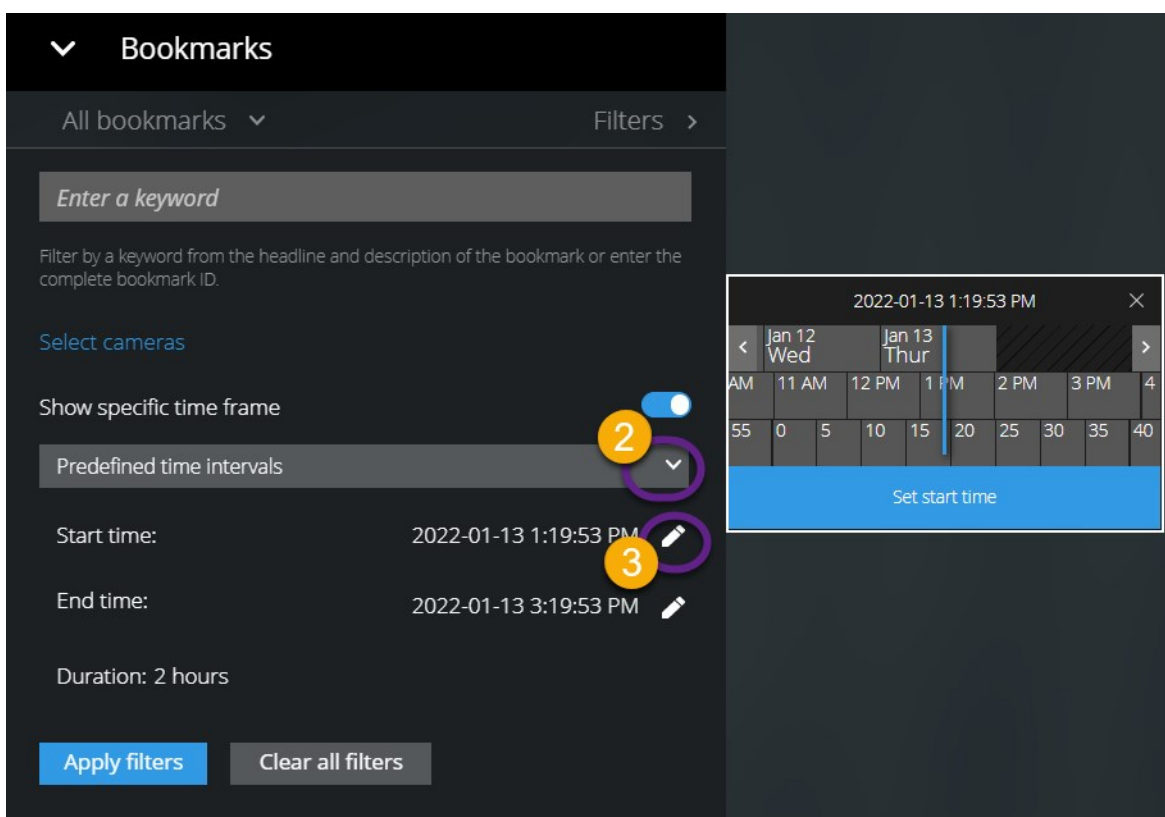
3. オプション。速やかに指定のカメラを見つけるには、[カメラの検索] オプションを使用します。
4. カメラリストから、フィルターとして適用するカメラを選択します。
5. オプション。選択を元に戻すには、各カメラのチェックボックスのチェックを外すか、[すべて選択解除] を選択します。
6. 選択内容を保存するには、[保存] をクリックします。
7. 選択したカメラをフィルターとして適用するには、[フィルターを適用] をクリックします。
8. オプション。フィルターの選択を解除するには、[すべてのフィルターをクリア] をクリックします。


事前に設定したまたはカスタマイズした時間間隔でブックマークにフィルターを適用する手順

事前に設定したまたはカスタマイズした時間間隔（ブックマークに追加したビデオシーケンスの開始時刻と終了時刻の間の時間間隔）が含まれる指定の時間枠を使用してブックマークのリストにフィルターを適用できます。時間枠のデフォルトの継続時間は**2時間**に設定されています。

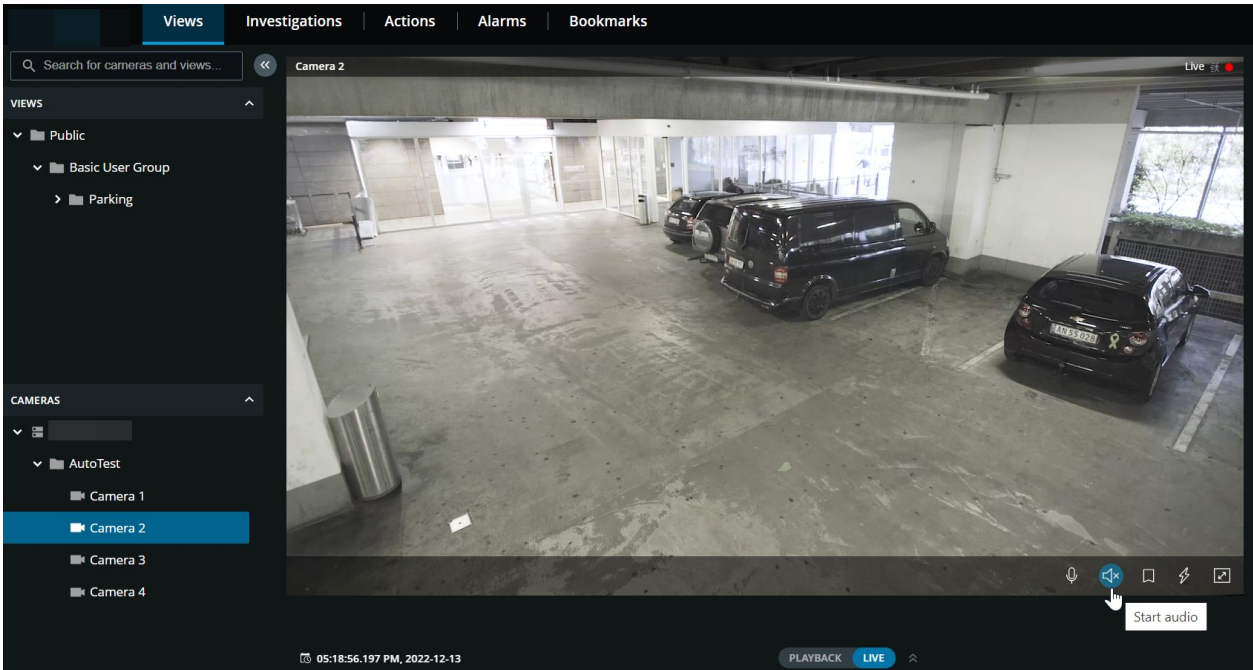


1. [ブックマーク] タブで、[フィルター] リストを展開します。
2. [指定時間枠を表示] 設定^①を有効にします。
3. [定義済みタイムインターバル^②] のリストを展開してから、以下のオプションのいずれかを1つ選択します。
 - 直近2時間
 - 直近12時間
 - 直近6時間
 - 直近24時間
 - 昨日
 - 直近7日間




4. オプション。ブックマークしたビデオシーケンスの開始時刻と終了時刻のタイムインターバルをカスタマイズするには、 ^③ を選択し、タイムピッカーを開き、カスタム開始時刻または終了時刻を設定します。
5. フィルターを適用するには、[フィルターを適用] をクリックします。
6. オプション。フィルターの選択を解除するには、[すべてのフィルターをクリア] をクリックします。

ライブモードで受信音声を再生



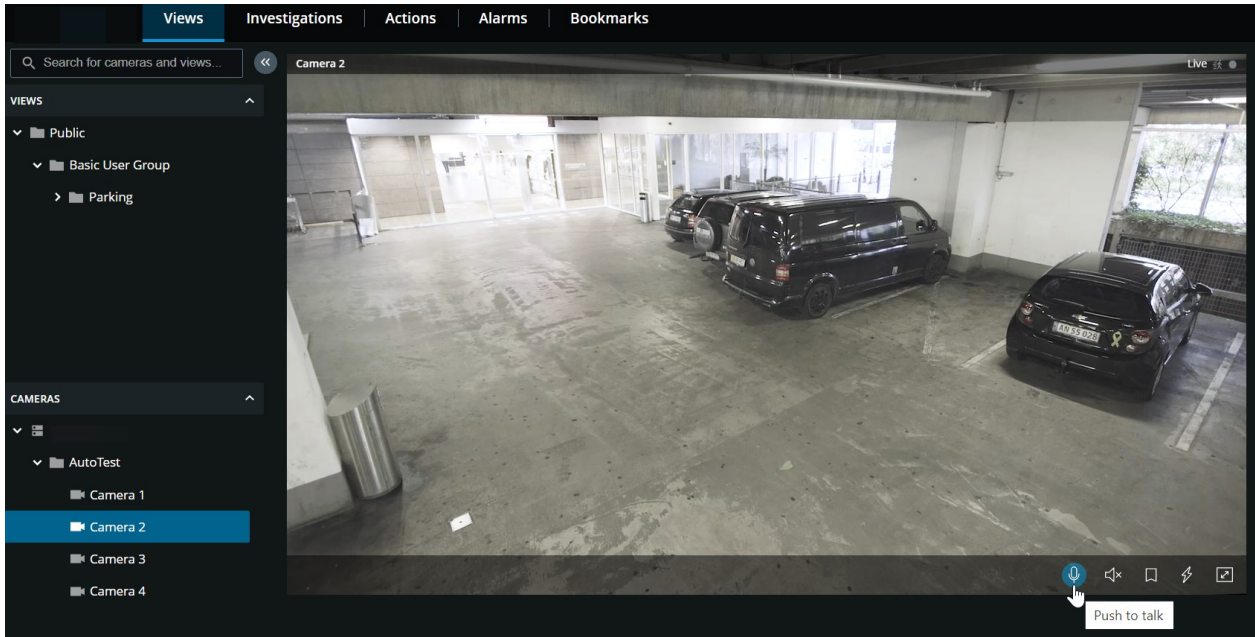
[ビュー] タブで、カメラがあるビューを選択します。

1. マイクが付随したカメラを見つけてクリックします。
2. カメラのツールバーで、 をクリックして、音声の再生を開始します。デフォルトでは、音声は消音になります。





カメラに付随のマイクから入ってくるライブ音声は、もしこれらのカメラからのライブビデオストリームが無い場合でも再生可能です。

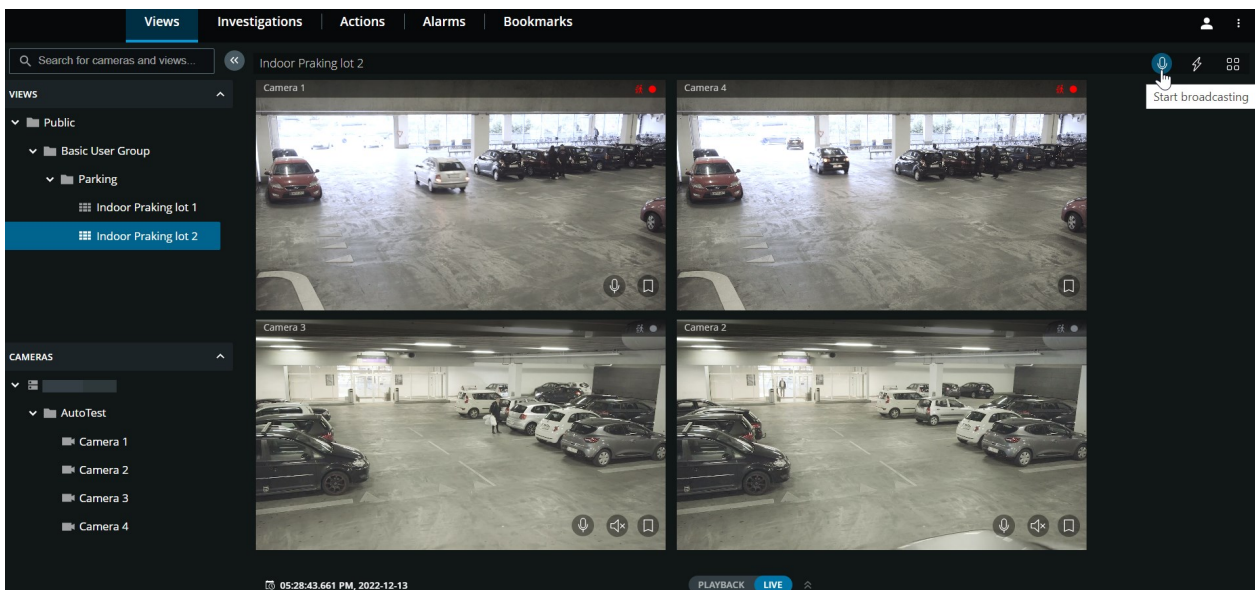
1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用





[ビュー] タブで、カメラがあるビューを選択します。

1. スピーカー付属のカメラを探してクリックします。
2. カメラ ツールバーで  を長押しして、プッシュ ツー トークの使用を開始します。
3. 音声の送信を終了したい時は  をリリースします。

ライブビデオ内の複数のカメラに音声を配信する



[ビュー] タブで、カメラがあるビューを選択します。

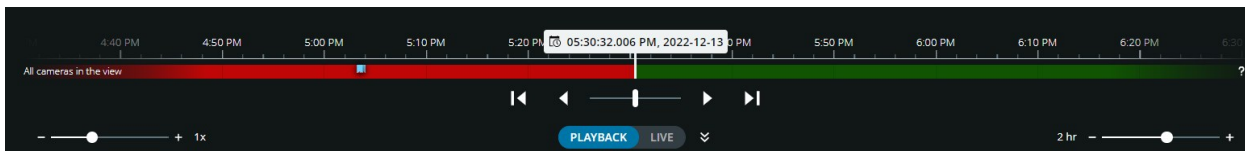
1. ビューツールバーで、 をクリックしたまま、ビュー内のスピーカーがあるすべてのカメラへの音声のブロードキャストを開始します。
2. 音声の配信を終了するときに  をリリースします。



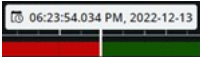

再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）

XProtect Web Clientでは、タイムラインを使用して録画を素早く検索して発見できます。

[ビュー] タブ:

1. 1台のカメラまたはカメラがあるビューを探して、クリックします。タイムラインは、単一カメラと複数カメラビューのどちらでも利用できます。
2. 再生モードに切り替えてタイムラインを表示すると、タイムラインコントロールを使って次の操作を行うことができます。




アイテム	可能なアクション
	再生スライダーをクリックし、そのまま左または右にドラッグします。再生スライダーを離すと、選択した時間で録画の再生が開始されます。
	ライブモードで、カメラビューペインの左下の現在の時間インジケータでビデオの現在の時間を表示します。クリックしてタイムピッカーを開き、日時を選択すると、ビデオ内の特定の時点に移動します。
	再生モードで、タイムラインの中央にある時刻インジケータに選択した時間の録画内容を表示する。クリックしてタイムピッカーを開き、日時を選択すると、ビデオ内の特定の時点に移動します。（ ページ51の再生するビデオの時間を指定する を参照してください）。
	録画を逆再生または順再生します。

アイテム	可能なアクション
	録画の再生を一時停止します。
	前または次のシーケンスに移動する。
	ライブと再生モード間を素早く切り替えます。タイムラインを非表示または表示します。
	<p>「?」のアイコンをクリックして、以下のタイムラインのカラーコード凡例を開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 灰色 - 録音/録画がない期間を示します。 • 緑 - 将来の期間を示します。 • 赤 - 録音/録画がある期間を示します。 • 薄青 - 録音/録画にブックマークが追加されたことを示します。
	タイムラインの左下にある速度スライダーを左にドラッグするか、マイナス記号をクリックして、再生速度を遅くする。速度スライダーを右にドラッグする、またはプラス記号をクリックして再生をスピードアップします。デフォルト値は x1 です。
	タイムラインの右下にある時間スライダーを左へドラッグするか、マイナス記号をクリックして、ビデオ再生のタイムスパンを短縮する。時間スライダーを右へドラッグする、またはプラス記号をクリックしてビデオを再生するタイムスパンを拡張します。
	<ul style="list-style-type: none"> • ブックマークのアイコンにカーソルを合わせて、ブックマークの名前と、ブックマークビデオクリップを録画したカメラの名前を表示します。

アイテム	可能なアクション
	<ul style="list-style-type: none"> • ブックマークアイコンをクリックして、ブックマークのプレビューポップアップを開き、ブックマークのビデオクリップを再生する（ページ30のブックマーク（使用）を参照）。[詳細]メニューでは、以下のことができます。 <ul style="list-style-type: none"> • ブックマークへ移動 - [ブックマーク] タブのブックマークのリストにあるブックマークを開きます。ブックマークの詳細を表示したり、ブックマークを編集/削除できます。 • [編集] - ヘッドライン、説明、ブックマークのタイムスパンを編集できます。 • [削除] - ブックマークを削除します。

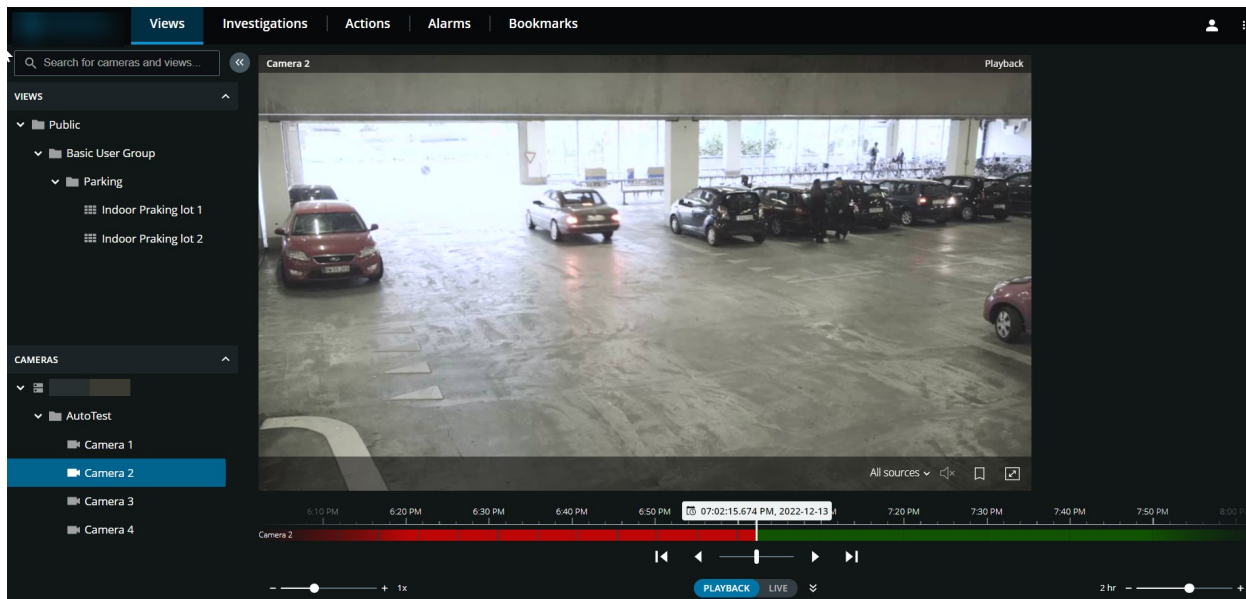
1台のカメラから録画を再生する

	<p>「カメラ1に何かを発見しました。ライブビデオを停止し、何が起こったのかすぐに確認したいです。」</p>
---	--

[ビュー] タブと [調査] タブの両方で、1台のカメラからの録画を再生できます。

[ビュー] タブ:

1. **[カメラ]**セクションで、カメラのフォルダーに移動し、表示するカメラをクリックします。ビデオはライブモードで再生を開始します。
2. タイムラインで、**[再生]**をクリックしてタイムラインを再生モードで表示します（[ページ44の再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)を参照）。









カメラツールバーで:

アイテム	可能なアクション
	ビデオ録画が双方向音声の場合に、再生したい音声ソースを選択します（ ページ10のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件 、 ページ48のビデオ録画における音声の再生（説明付き） を参照）。
	ビデオ録画に録音された音声の再生を開始または停止します（ ページ10の受信音声の再生条件 を参照）。
	録画されたビデオにブックマークを追加して、関連するビデオシーケンスをすばやく見つけます（ ページ33のブックマークを追加または編集する を参照）。
	全画面にします。 Esc を再度クリックまたは押して、全画面を終了します。



[調査]タブで、以下を実行します。

一台のカメラの録画を再生したいが、選択したグループに複数台のカメラがある場合は、必要のないカメラを削除できます。これを行うには、[ページ55の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます](#)。の手順に従います。

1台のカメラからの録画を再生するには：

1. カメラのタイムラインで、再生するビデオの時間を指定します。
2. ビデオを逆再生または再生するには、またはをクリックしてください。
3. オプション。通常のスピードでビデオ録画を再生する際に、をクリックして受信音声の再生を開始し、をクリックして停止します(マイク付きカメラのみ)。
4. オプション。音声の再生を開始する場合は、停止する場合はをタップします(カメラにマイクとスピーカーが接続されている場合)。ビデオ録画に双方向の音声がある場合は、再生する音源を選択します(ページ48のビデオ録画における音声の再生(説明付き)を参照)。




ビューを拡大するには、拡大するカメラにカーソルを置いて、右上のをクリックするか、またはカメラのサムネイル自体をクリックします。デフォルトのビューに戻るには、**Esc**キーを押すか、または右上のをクリックします。

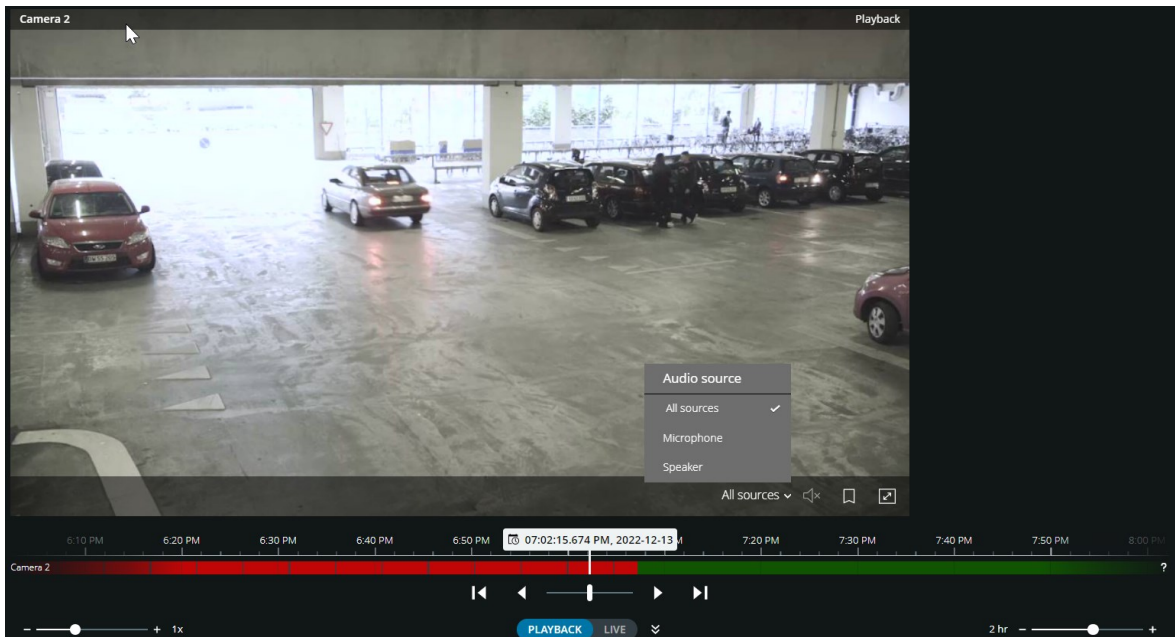
ビデオ録画における音声の再生(説明付き)


XProtect Web Clientでは以下が可能です:

- 再生モードでカメラ録画の音声を再生します。
- 調査モードでカメラの録画から音声を再生します。

カメラツールバーで:

- 録音した受信音声を再生するには、ビデオ録画の再生中に  をクリックして音声の再生を開始します。



- 録音した受信音声と送信音声を再生するには、 をクリックして音声の再生を開始します。[音声ソース]リストで、ビデオ録画の再生中に再生したい音声デバイスを選択します。オプションは以下のとおりです。
 - [すべてのソース] (デフォルト) - 録音された受信音声と送信音声の両方を再生します。
 - [マイク] - 受信音声のみを再生します
 - [スピーカー] - 送信音声のみを再生します



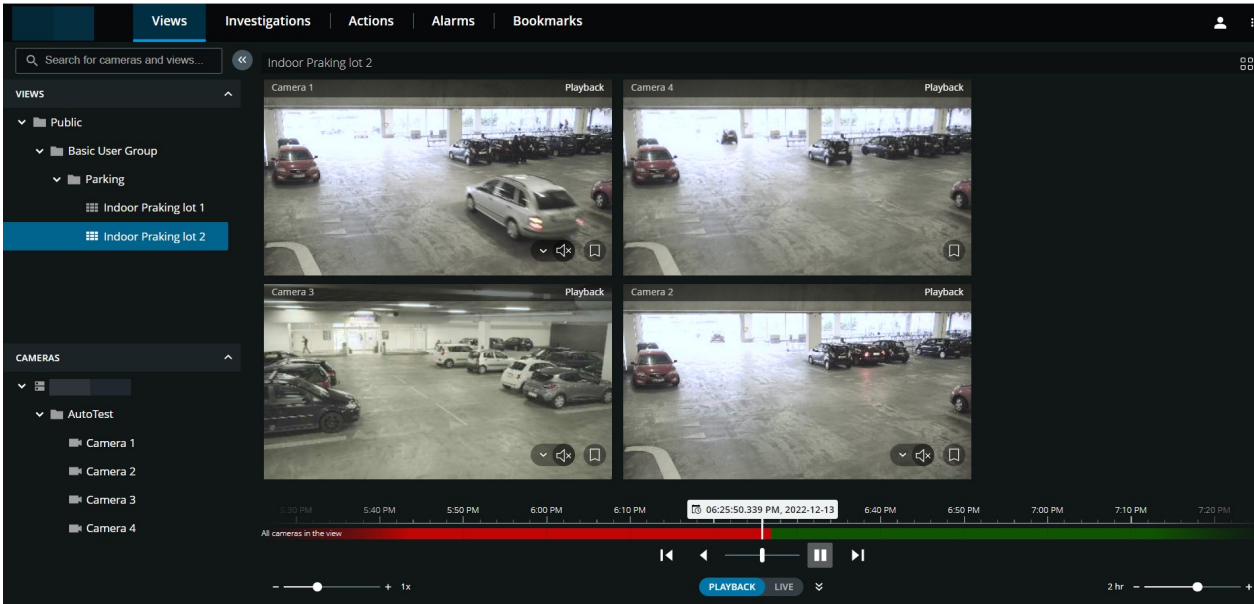
音声の再生は、ビデオ録画が存在し、かつ録画を通常のスピードで再生する場合にのみ可能です。

複数のカメラからの録画映像（説明付き）

複数カメラからの録画は、[ビュー]タブと[調査]タブの両方で再生できます。

[ビュー]タブ:


- [ビュー]セクションで、ビューを含むフォルダーに移動し、目的のビューをクリックします。ビデオはライブモードで再生を開始します。
- タイムラインで、[再生]をクリックしてタイムラインを再生モードで表示します（[ページ44の再生モードでのタイムラインの使用（説明付き）](#)を参照）。



複数のカメラのビューでは、以下の操作が可能です。

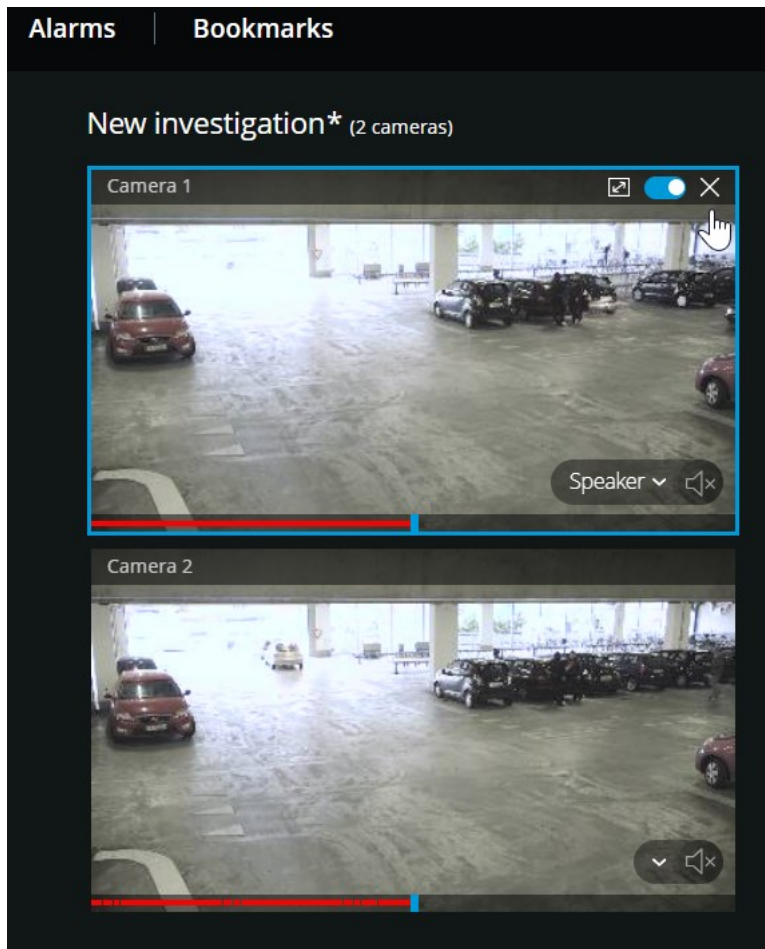
- ビュー内のすべてのカメラからの録画を確認します。
- どのカメラにマイクが付属しているかを確認します。
- どのカメラにスピーカーが付いているかを確認します。
- カメラをクリックし、そのカメラの録画のみを表示します。すべてのカメラのビューに戻るには、[ビューに戻る]をクリックします。

ビューのツールバー上：

- カメラの単一ビュー表示でコンピューターの画面全体を使用する場合は、 をクリックしてグリッドビューを開きます。

[調査]タブでは、調査を作成せずに録画を再生できます。

カメラのビュー画面の下の、赤い連続した線は、ビデオ録画がある時間を表します。



このモードでは以下が可能です:

- 再生するカメラを選択し、指定した時間帯に録画がないカメラを削除します（[ページ55の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。](#)を参照）。
- 再生する録画の時間を指定します（[ページ51の再生するビデオの時間を指定する](#)を参照）。
- 録画のタイムスパンを指定する（[ページ57のタイムラインを使用した調査（説明付き）](#)を参照）。
- 選択したカメラグループのすべてのカメラから録画を同時に再生します。
- 選択したカメラグループの特定のカメラのビデオ録画とともに音声再生を開始するか停止します（[ページ48のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。

再生するビデオの時間を指定する



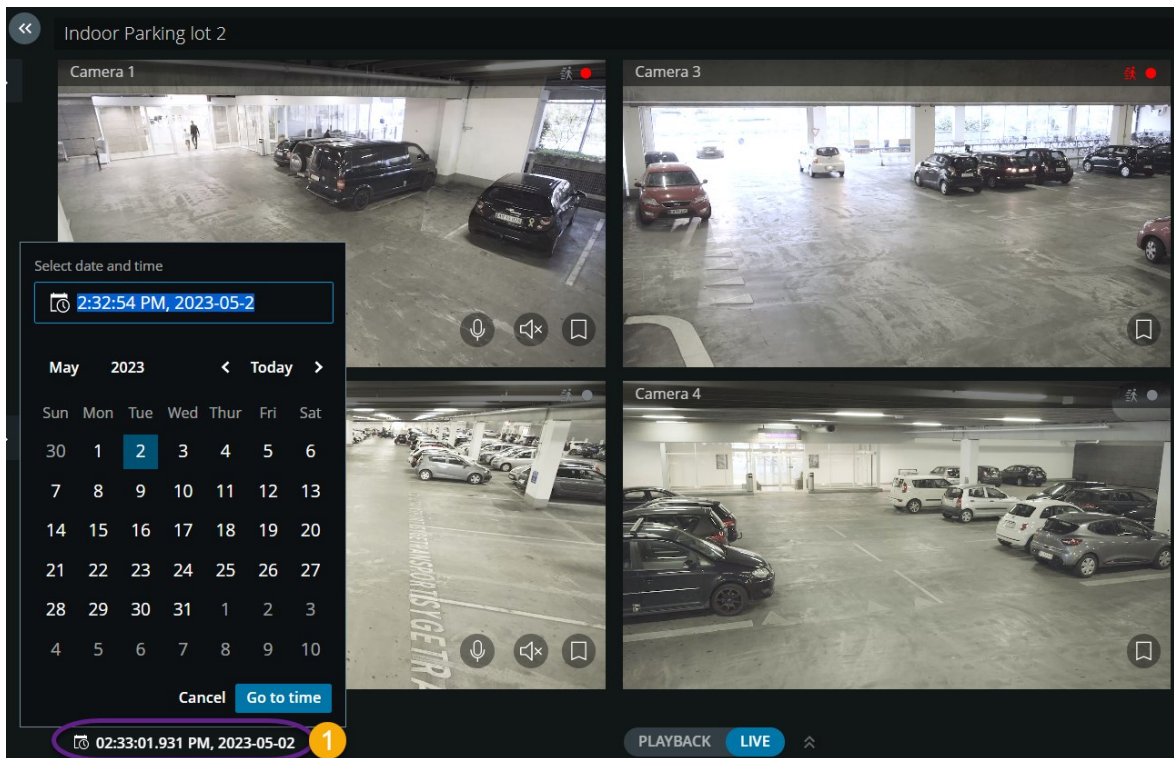
「特定の時間に戻り、その時間帯の映像を見る必要があります。」



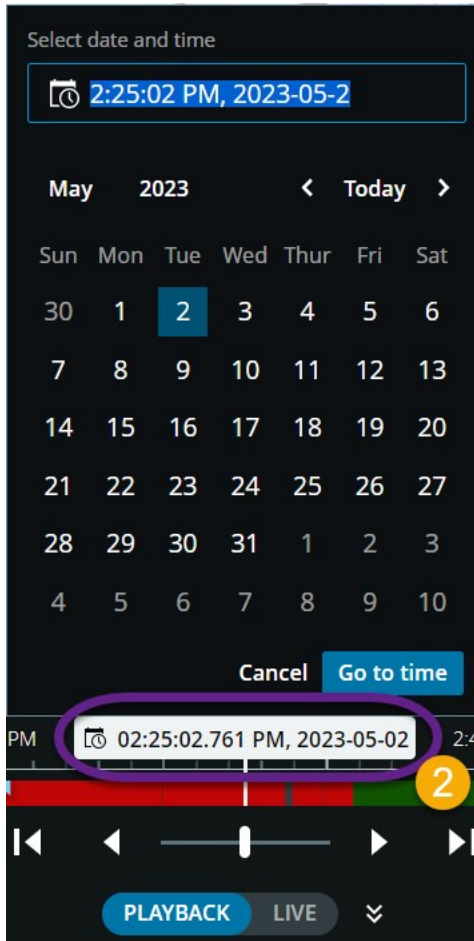
XProtect Web Client では、アプリで表示される時刻情報はコンピューターで設定しているタイムゾーンを引き継ぎます。これにはライブおよび再生モード、アラーム、ブックマークなどで表示される時刻が含まれます。

[ビュー] タブ:

1. 左側のペインで、カメラを検索してクリックする、または複数のカメラのビューを表示します。
2. タイムピッカーを開くには。
 - ライブモードでは、ビューペインの左下隅で現在時刻のインジケータをクリックします **1**。




- 再生モードでは、タイムラインの真ん中で時刻インジケータをクリックします **2**。

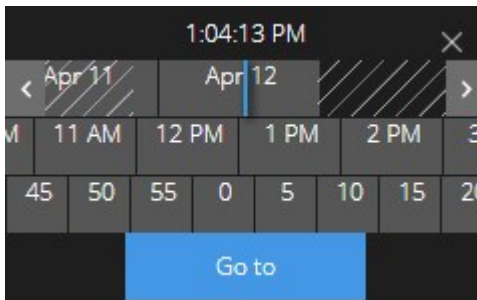


3. 入力フィールドで、レコーディングの日付と時刻の新しい値を手動で指定します。カレンダーから新しい日付を選択することもできます。
4. **[時間に移動]**をクリックします。





特定の時点からビデオを再生するには、タイムラインコントロールも使用できます([ページ44の再生モードでのタイムラインの使用 \(説明付き\)](#)を参照)。

[調査]タブで、以下を実行します。

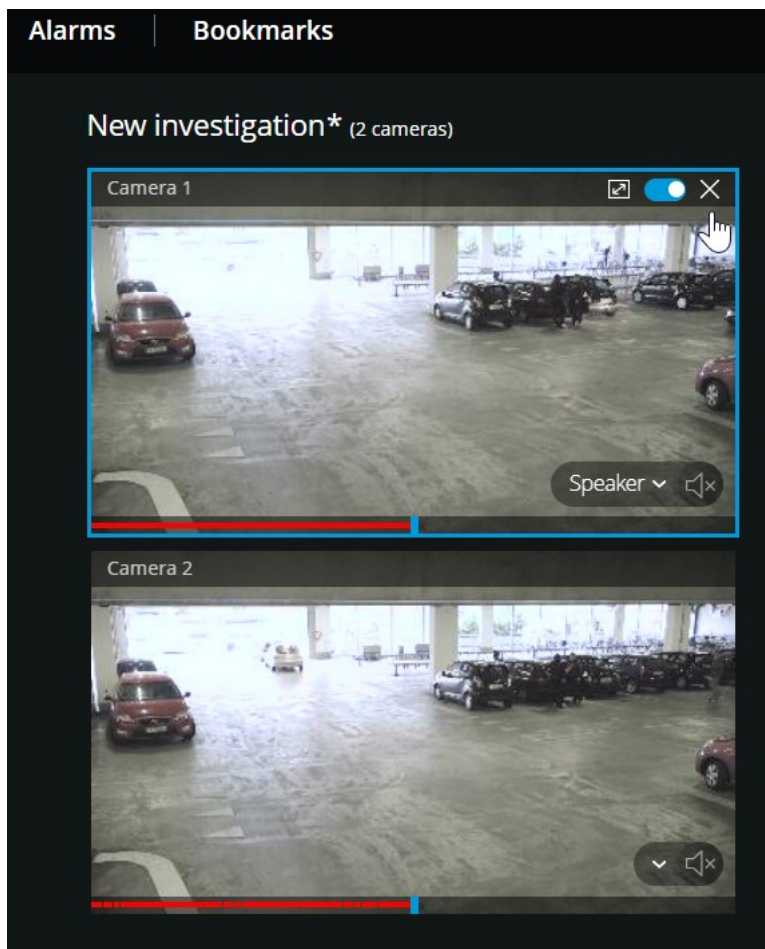
1. タイムラインで  をクリックして、タイムピッカーを開きます。




タイムピッカーをクリックしてドラッグすることで、画面上の位置を変更できます。

アイテム	可能なアクション
	1週間戻る、または進む。
	日付を指定するには、日付スクローラーを左か右にドラッグしてください。青い時間インジケータが、選択された日付を表します。
	時刻を指定するには、時間スクローラーを左か右にドラッグしてください。青色の時間インジケータが、選択された時間を表します。
	分を指定するには、分数スクローラーを左か右にドラッグしてください。青い時間インジケータが、選択された分数を表します。
移動する	指定した時間からビデオを再生するには、クリックしてください。

再生をオンまたはオフにする



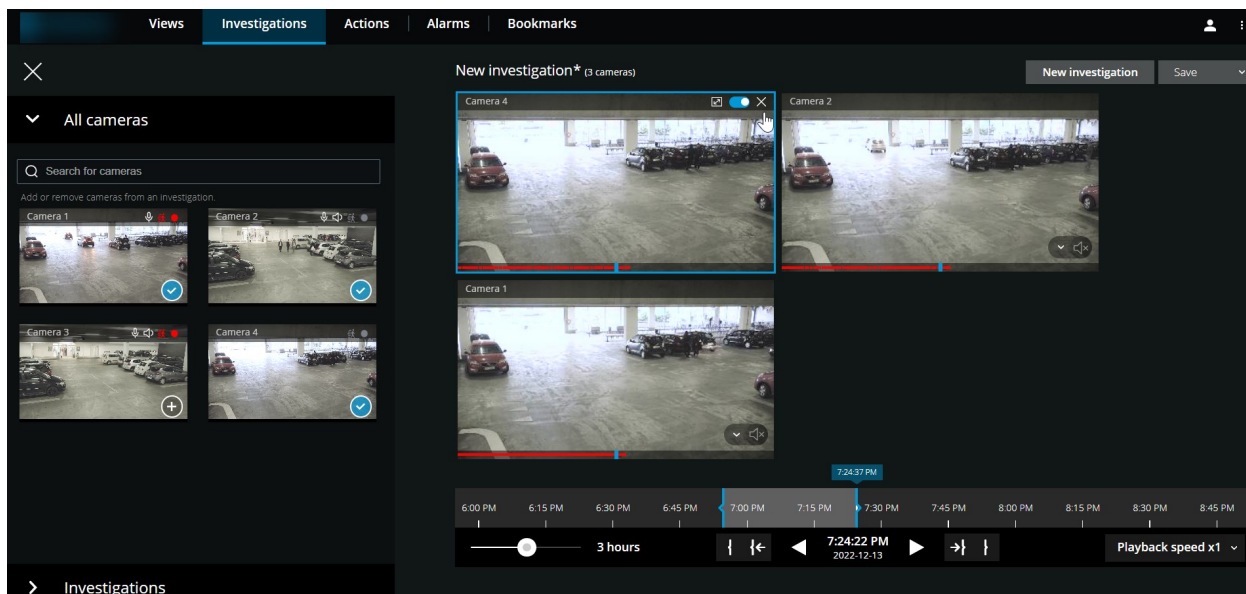
[調査]タブの調査で、以下を実行します。

1. 再生を有効または無効にするカメラの上にカーソルを合わせます。
2. ビデオの左上隅で、をクリックして再生をオンまたはオフにします。



再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。



「映像を再生する前に、指定した時間帯に録画映像が含まれていないカメラを削除したいです。どうすればできますか。」



[調査]タブでは、以下の場合にカメラグループから不要なカメラを削除できます。

- カメラの上にカーソルを置いてから、右上隅の  をクリックします。
- サイドパネルの  をクリックします。
- サイドパネルで、削除するカメラをダブルクリックします。

調査エリア内のカメラ（説明付き）

[ビュー] タブ上でカメラのグループを表示してから、調査モードに切り替えると、同じグループのカメラが調査エリアに表示されます。



[調査]タブでは、ビューまたはグループ内の個々のカメラのみを閲覧できます。複製されたカメラは調査エリアには表示されません。

例：

- [ビュー] タブ上の [プライベート] フォルダースにある場合。[調査]タブをクリックすると、[プライベート] フォルダースにあるすべてのカメラが調査エリアに表示されます。

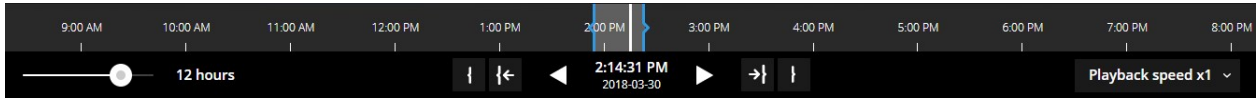
作成した調査で受信音声と送信音声を再生するには、以下を行う必要があります：

- 音声デバイス（マイクとスピーカー）の付いているカメラを追加します（[ページ10の受信音声の再生条件とページ10のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件](#)を参照）。
- 通常で速度でビデオ録画を順方向に再生します（[ページ48のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。




タイムラインを使用した調査（説明付き）

タイムラインを使用した調査では、以下を行うことができます。


- 調査対象の録画時間
- 調査対象の時間帯。



アイテム	可能なアクション
	録画時間を変更する場合、タイムラインスクローラーを左か右にドラッグしてください。タイムラインスクローラー内にある白い時間インジケータが、選択された時間を表します。
	ビデオを再生または逆再生する。
	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオの再生が行われた時間を確認します。 • タイムラインのこの部分をクリックしてタイムピッカーが開く。調査またはダウンロードを実行する録画の時間を選択するには、タイムピッカーを使用できます（ページ51の再生するビデオの時間を指定するを参照）。 <div style="background-color: #e1f5fe; padding: 10px; border: 1px solid #cfe2f3;"> <p> タイムピッカーをクリックしてドラッグすることで、画面上の位置を変更できます。</p> </div>
	青い時間帯マーカーをクリックし、ドラッグして、調査またはダウンロードしたい録画の開始時刻と終了時刻を指定します。
	調査の開始または終了時刻と選択した時間を揃えてください。

アイテム	可能なアクション
	選択した時間と調査の開始または終了時刻を揃えてください。
	タイムラインバーの右下にある[再生速度]リストから、ビデオの再生速度を選択します。デフォルト値はx1です。
	タイムラインの左下にあるスライダーをドラッグして、タイムスパンを変更する。この機能によって、ビデオを再生またはダウンロードする詳細な時間帯を設定できます。


1つかそれ以上のカメラで調査を作成する



「オフィスにあるすべてのカメラからの、昨日の午前9時30分頃からの録画映像を調査したいので、1ヶ月分の録画を保管したいです。」

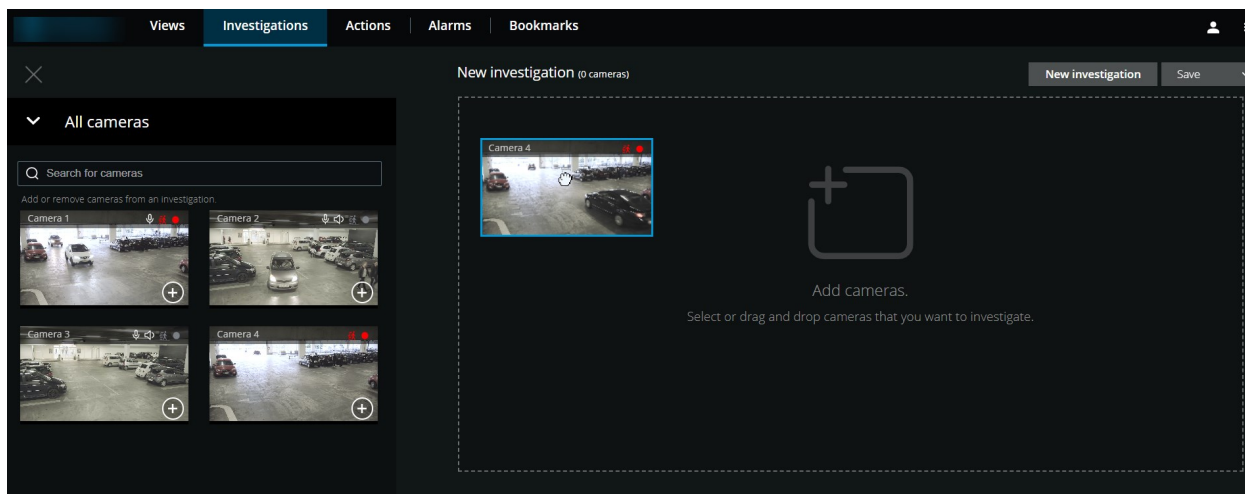
以下の場合、調査を作成してください：

- ビデオ録画がすでにシステムデータベースから削除されていても、その映像を回数制限なく好きなだけ再生するため、保存期間より長く録画映像を保管する場合。




デフォルトで、システムデータベース内のビデオ録画の保存期間は7日間です。有効にすると、モバイルサーバーでの調査の保存期間もデフォルトで7日間になります（[ページ15の録画および調査の保存期間と保管（説明付き）](#)を参照）。

- ビデオ録画をエクスポートし、後でダウンロードして当局と共有する場合。



[調査]タブで、以下を実行します。

1. **[新しい調査]** をクリックします。
 サイドパネルが左側に開きます。
2. サイドパネルの**[すべてのカメラ]**で、調査したいカメラを参照して検索できます。
3. 以下を行うことで、1台または複数のカメラを追加できます：
 - 調査するすべてのカメラをクリックし、**[新しい調査]** エリアにドラッグ&ドロップします。
 - 追加する各カメラの右下隅にある  をクリックします。
4. 追加したいカメラをダブルクリックします。

最高18台のカメラを調査に追加できます。調査したいカメラのビューにもっと多くのカメラが含まれている場合は、2つのオプションがあります。



- **[カメラの追加]**を選択して、最初の18台のカメラを調査に追加します。
- **[空の調査を開く]**を選択して、調査に追加するカメラをカスタマイズします。



5. タイムピッカーを使って、調査したい録画映像の時間を指定してください。
 選択した時間は、新しい調査に追加したカメラすべてに適用されます（[ページ51の再生するビデオの時間を指定する](#)を参照）。
6. タイムラインでは、再生する録画のタイムスパンを指定できます。
 選択したタイムスパンは、新しい調査に追加したカメラすべてに適用されます（[ページ57のタイムラインを使用した調査（説明付き）](#)を参照）。
7. **[保存]** リストから、**[名前を付けて保存]** を選択します。

[調査を保存する]フォームが開きます。

8. [調査名]欄には、新しい調査の名前を入力してください。
9. **OK** をクリックします。

新しい調査の設定が保存されます。




ビューを拡大するには、拡大したいカメラにカーソルを当てて、右上の  をクリックするか、またはカメラのサムネイル自体をクリックします。デフォルトのビューに戻るには、**Esc**キーを押すか、または右上の  をクリックします。

カメラを既存の調査に追加



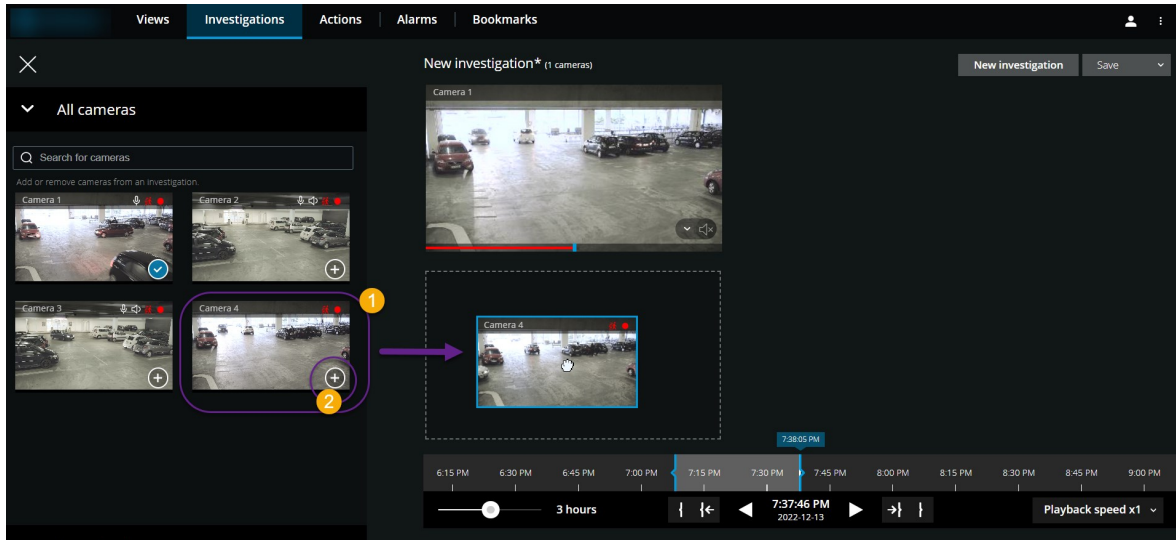
「既存の調査にもっとカメラを追加したいです。どうすればできますか。」

[調査]タブで  をクリックしてサイドパネルを開きます。

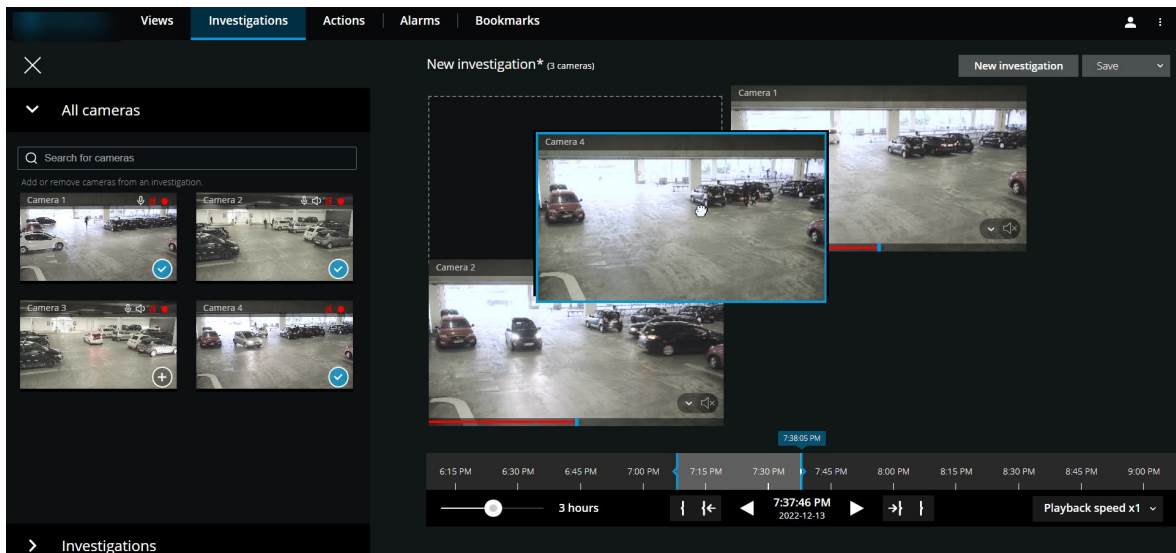
1. サイドパネルで **【調査】** をクリックします。
2. カメラを追加する調査に移動し、調査名をクリックする。
3. サイドパネルで **【すべてのカメラ】** をクリックします。 **【すべてのカメラ】** エリアに、利用可能なすべてのカメラがサムネイルとして表示されます。

4. 追加するカメラに移動する。



- カメラ^①をクリックして、調査エリアにドラッグ&ドロップします。
- 各カメラ^②の右下の⁺をクリックします。
- 追加するカメラをダブルクリックします。



1. オプション。調査でカメラの順番を変更するには、移動するカメラをクリックしてドラッグ&ドロップします。




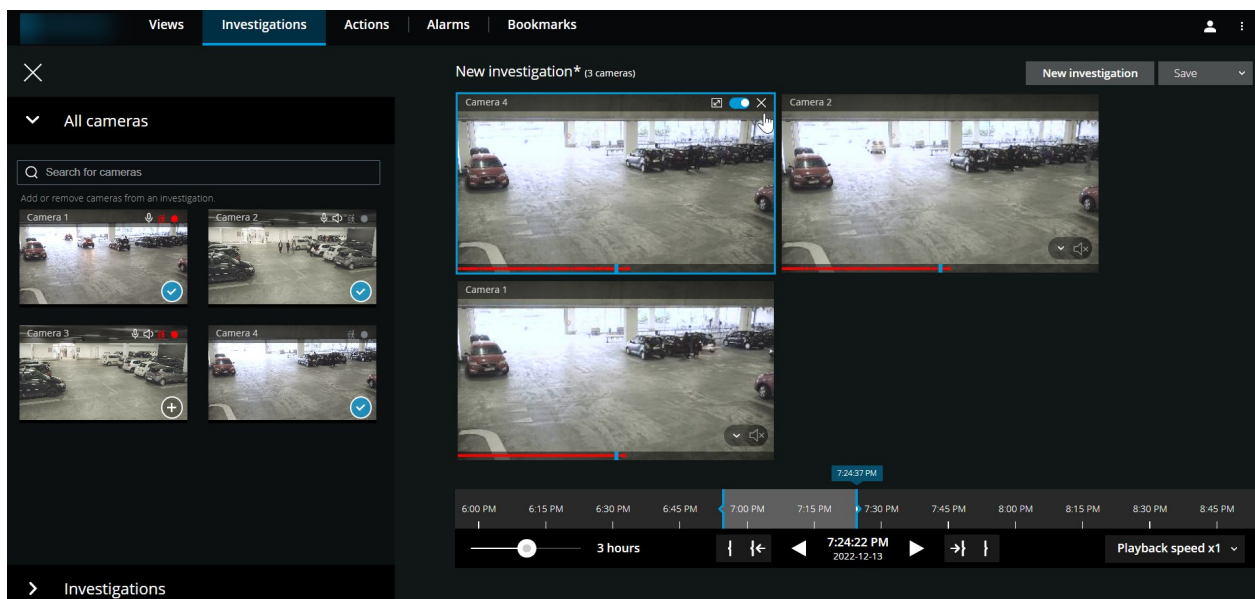
[全てのカメラを検索する]欄で、名前でカメラを検索できます。

 右下のチェックボックスが選択されている場合は 、カメラはすでに追加されています。


5. **保存**をクリックします。
6. ドロップダウンリストから、**[保存]**を選択します。

既存の調査からカメラを削除する

 「複数の映像をダウンロードしたいが、カメラ1には関連する映像が録画されていません。調査から削除するにはどうしたらよいですか。」



既存の調査の[調査]タブで、以下を実行します。

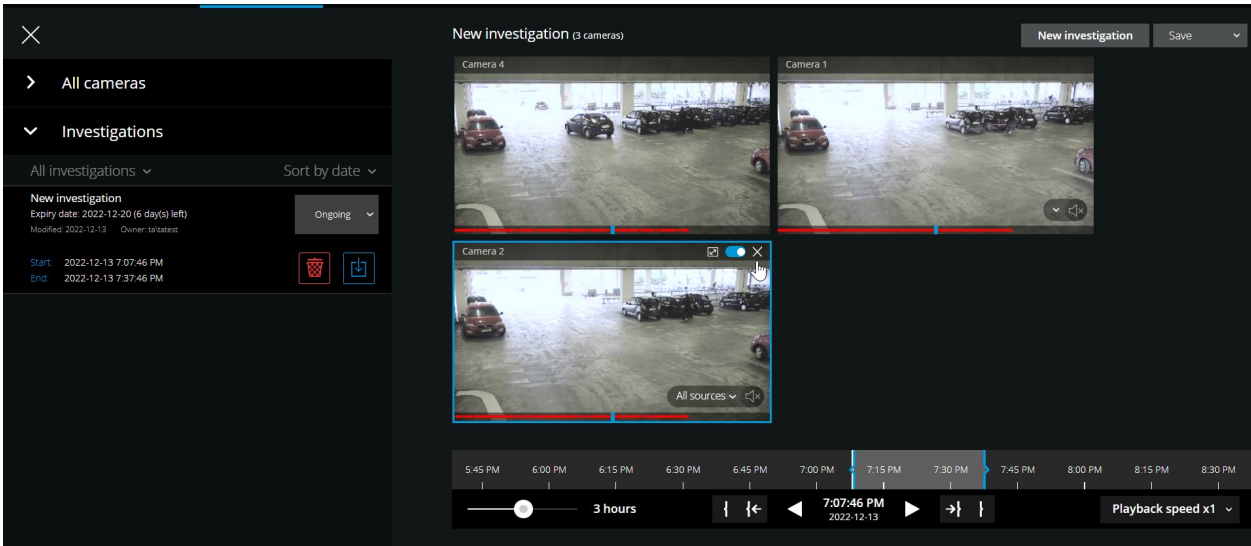
1. 調査から削除したいカメラにカーソルを当てます。
2. 右上隅の  をクリックして、調査からカメラを削除します。
3. **保存**をクリックします。
4. ドロップダウンリストから、**[保存]**を選択します。

すべてのカメラでカメラグループビューを開いて、カメラを調査から削除することもできます（[ページ55の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。](#)を参照）。

調査を更新または削除する



「既存する1つの調査の名前と状態を更新し、もう1つの調査を削除したいです。どうすればできますか。」







[調査]タブで[☰]をクリックしてサイドパネルを開きます。

サイドパネルで、

1. [調査] をクリックし、すべての調査を表示します。
2. [自分の調査]リスト内で、更新または削除する調査に移動してクリックします。

アイテム	可能なアクション
[調査名]	クリックして既存の調査の名前を変更する。
有効期限	調査の保存期間が有効になっている場合は、調査の有効期限を確認します。

アイテム	可能なアクション
	調査を削除する。
	選択したビデオフォーマットで、調査の準備と、調査をダウンロードします（ ページ64の映像のエクスポートとダウンロードを準備する を参照）。
	調査の状態を [進行中] または [完了] に手動で設定する。
	以下によって、調査を分類する： <ul style="list-style-type: none"> • 日付。リストの上部にある直近の調査を表示します。 • 状態。リスト内の進行中の調査を最初に、完了した調査を最後に表示します。



調査を開き、調査に追加済みのカメラに接続された音声デバイスを切り替えると、以前接続されていた音声デバイスの音声再生が再生されます。アップデートを完了させてから新しい音声デバイスの音声再生を開始するには、最初にXProtect Web Clientを再起動し、**[保存]**をクリックしてこの調査を更新します(マイクまたはスピーカー付きカメラのみ)。

映像のエクスポートとダウンロードを準備する



「自分の調査をダウンロードして、後日警備員に見せたいです。どうしたらよいでしょう。」

XProtect Web Clientで利用可能なビデオ形式は以下の通りです：

フォーマット	説明
AVIパッケージ	大半のメディアプレイヤーで採用されている標準的ファイル形式です。迷っている場合は、こちらを選択してください。
XProtectパッケージ	<p>XProtect Smart Client - Player形式を表示できるのはXProtectのみです。</p> <div style="border: 1px solid #0070C0; padding: 10px; background-color: #E6F2FF;">  <p>XProtect Smart Client - Playerアプリケーションは、エクスポートされたデータに含まれません。アプリケーションは、XProtect Smart ClientからXProtect形式をエクスポートする場合にのみ含めることができます。</p> </div>
MKVパッケージ	録画カメラが使用するコーデックを選択します。必要なコーデックがインストールされている場合のみ映像を再生できます。



利用可能な形式はシステム管理者が指定します。セキュリティ上の理由により、モバイルサーバーでは、デフォルトですべての形式が無効になっています。

XProtect Web Clientでは、エクスポートの設定は以下の通りです。

- 再エクスポートは、すべてのビデオ形式で禁止されています。
- オプション。エクスポートはパスワードで保護できます。
- 256ビットAES暗号化
- デジタル署名が追加されます。



クライアントでサポートされているセキュリティ関連の機能の詳細については、Milestoneウェブサイトの製品概要ページにある完全な機能リストをご覧ください (<https://www.milestonesys.com/solutions/platform/product-index/>を参照)。

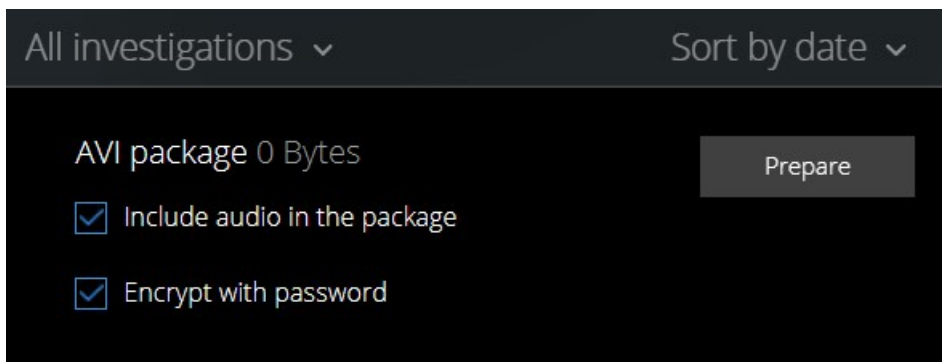
ビデオのエクスポートとダウンロードの準備の手順



ビデオのエクスポートやダウンロードを準備するには、特定のユーザー権限を保有している必要があります。エビデンスビデオを共有する際は、所属企業の規約に従ってください。

[調査]タブで、以下を実行します。

1.  をクリックします。
2. 該当する調査を開きます。
3. ダウンロードしたい調査をクリックします。
4.  をクリックします。
5. オプション。音声が含まれているビデオエクスポートパッケージを準備するには、[パッケージに音声を含める] チェックボックスを選択します。デフォルトでは、チェックボックスが選択されています。
6. オプション。ビデオのエクスポートパッケージを暗号化するには、[パスワードで暗号化] チェックボックスを選択します。デフォルトでは、チェックボックスが選択されています。



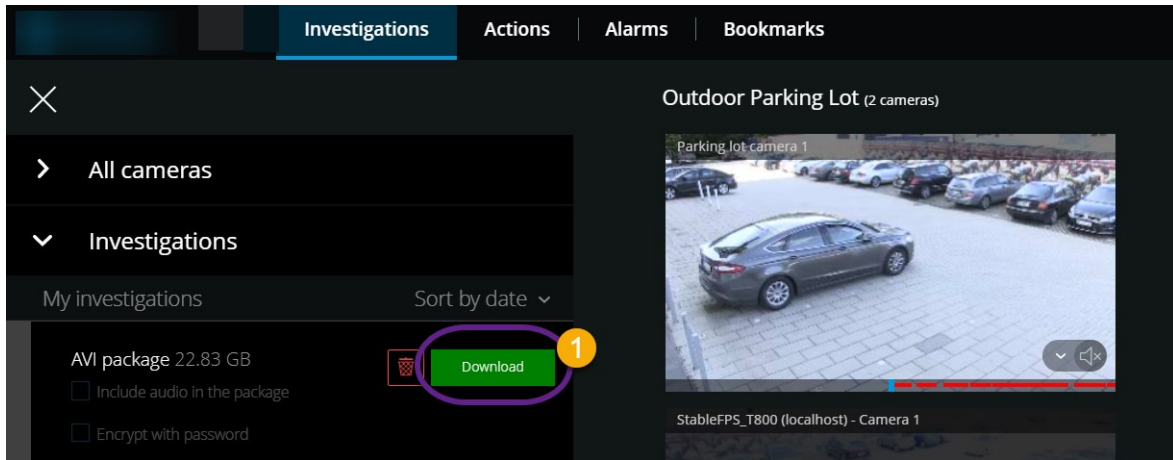
7. 希望するフォーマットで映像をダウンロードするには、[準備する]をクリックしてください。



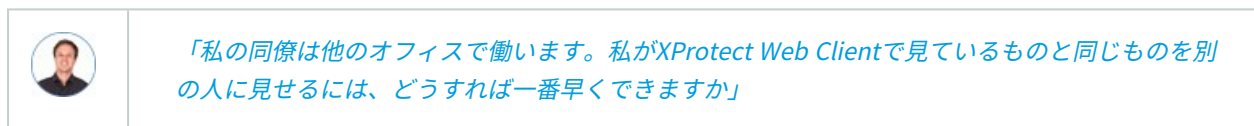
後で映像をエクスポートする準備をしたり、ダウンロードできます。準備されたエクスポートでは、調査に追加されたカメラの数と、録画映像の数が異なる場合があります。その理由は、そのカメラの指定した時間帯に録画映像が存在しない場合があるからです。

8. オプション。ダイアログボックスで、パスワードを作成し、エクスポートを暗号化して、[設定] をクリックします。パスワードは、現在のパッケージエクスポートにのみ適用されます。

9. 準備されたビデオのエクスポートをダウンロードするには、**①**をダウンロードをクリックしてください。ブラウザのダウンロードフォルダー内にダウンロードされたファイルがあります。

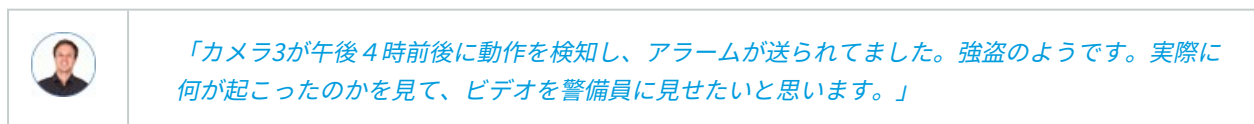


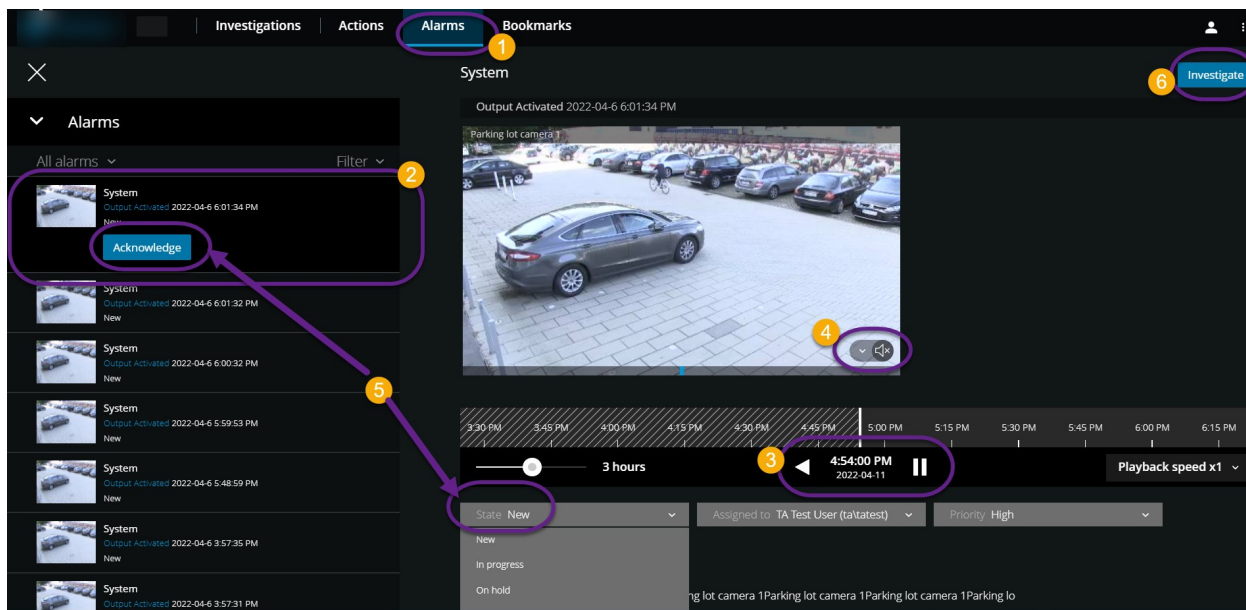
XProtect Web Clientページの共有（説明付き）



XProtect Web Clientのすべてのページに、固有のインターネットアドレスがあります。そのアドレスは、他のユーザーとの共有が可能です。ユーザーがWebブラウザ上でそのアドレスに進み、ログインすると、ユーザーは、あなたが共有したページを見ることができます。

アラームを表示





アラームタブ¹で：

1. ビデオの確認を希望するアラーム²を探し、クリックします。[フィルター]リストでは、アラームを状態別または優先度別にフィルタリングできます。
2. ビデオを逆再生または再生し、閲覧しているのイメージが撮影された時間を確認します³。
3. 通常スピードでビデオ再生をしている場合、ビデオ再生のために音声再生を開始または停止します⁴（[ページ48のビデオ録画における音声の再生（説明付き）](#)を参照）。
4. 認識ボタンをクリック、あるいは別のアラームステータスオプションをリストから選択して、アラームのステータスを変更します⁵。
5. ビデオを後で見るため、または他者と共有するために保存するには、**調査**をクリックします⁶。
6. 「[ページ64の映像のエクスポートとダウンロードを準備する](#)」の手順を実行します。

他にアラームを起動し得るものとは？

- カメラが動作を停止した。
- 窓ガラスが砕けた、または壊れた。
- ロッカーに侵入された。
- カメラでブラックリストに入っているナンバープレートが確認された。



アプリでどの画面を見ているかに関係なく、アラームに関する通知を受け取ることができません。通知をクリックすると、アラームの詳細に移動します。この機能は、Milestone Care Plusサブスクリプションパッケージが必要です。

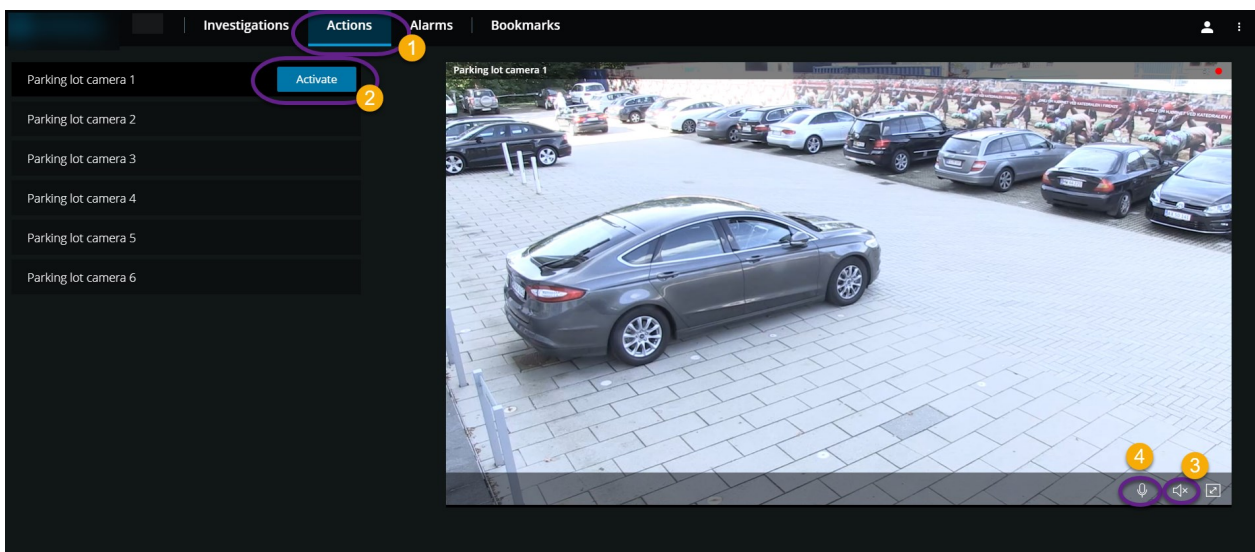


アラームを表示するには、アラームを設定し、必要なユーザー権限を付与することをシステム管理者に依頼します。

アクションの有効化





「来客者のために、フロントドアがボタンのプッシュで開くようにしたいです。」



アクションを有効化することで、お使いのビデオ監視システムのイベントがトリガされます。たとえば、フロントドアを開いた（アクション）とき、カメラ3がビデオの録画を開始（イベント）します。

アクション¹タブで：

1. 有効化したいアクションを見つけます。
2. **有効化**²をクリックすると、例えば、フロントドアが開きます。
3. オプション。ライブ インカム音声³をスタートまたはストップします（スピーカー付きカメラのみ）。
4. オプション。 プッシュ・トゥ・トークをスタートするには、クリック & ホールド 音声の送信を終了するには、 アイコンをリリースします⁴（スピーカー付きカメラのみ）。

ライブビデオを表示する際は、ライブモードのアクションも有効にできます（[ページ27のライブビデオを見る（説明付き）](#)を参照）。

アクションの例にはどのようなものがありますか？

- ドアの開け閉め。
- 電灯のオン/オフ。
- サイレンの有効化/無効化。



アクションを表示し、有効化するには、アクションを設定し、必要なユーザー権限を付与することをシステム管理者に依頼してください。

PTZコントロール

マウスを使用して、PTZ（パン/チルト/ズーム）カメラを動かす方法を選択します。

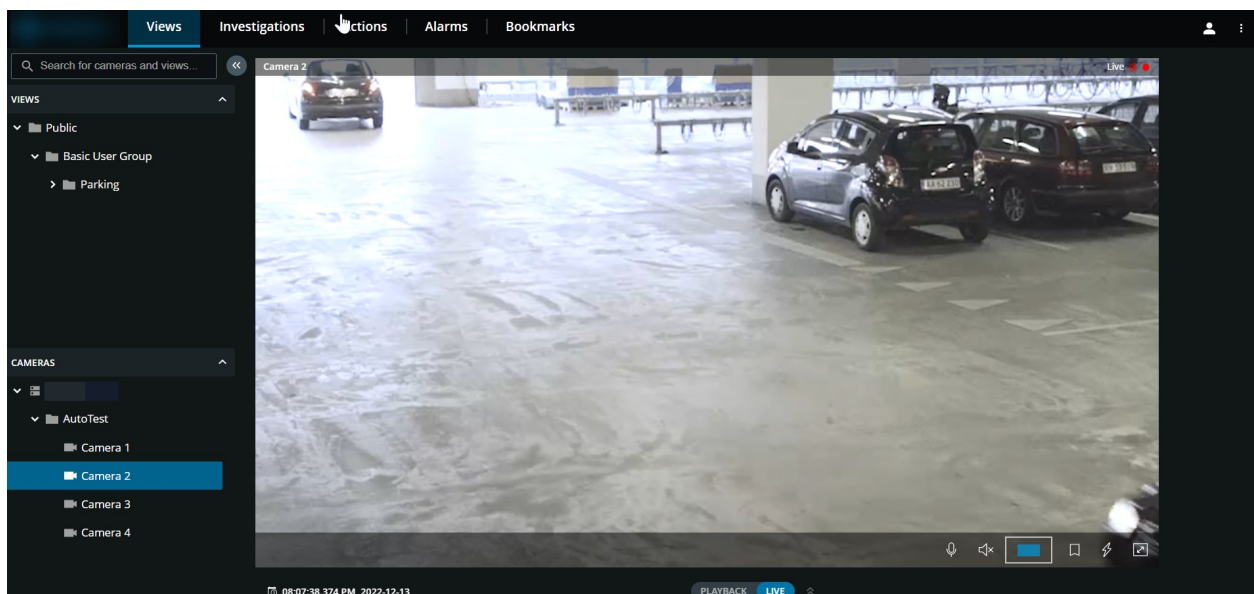
スワイプ：


1. ビデオの上にカーソルを動かします。
2. マウスの左ボタンをクリック・アンド・ホールドします。
3. マウスをドラッグし、左ボタンから指を離します。

タップしてホールド：

1. ビデオの上にカーソルを動かします。
2. マウスの左ボタンをクリック・アンド・ホールドします。
またはマウスをクリック・アンド・ドラッグします。

デジタルズームの使用



1. [ライブ] タブでカメラを検索して、クリックします。
2. ビデオの上にカーソルを動かします。
3. ズームイン／アウトするには、マウスでダブルクリックしてスクロールします。
4. ズームインした場合、お使いの  カーソルを興味のある領域までクリック・アンド・ドラッグします。ズームエリアインジケータは方向のナビゲーションに役立ちます。

光学ズームの使用（カメラが光学ズームをサポートしている場合）

1. [ライブ] タブで、PTZカメラを検索して、クリックします。
2. ビデオの上にカーソルを動かします。
3. ズームイン／アウトするには、マウスでスクロールします。

または  をクリックし、それから  をクリックしてズームします。



録画の最中にカメラの光学ズームを使用する場合は、ご使用のズームレベルが録画にも適応されます。

PTZ コントロールセクションでマウスを使用したPTZ（pan-tilt-zoom）カメラの動かし方をご覧ください（[ページ 70のPTZコントロール](#)を参照）。

アップグレード

XProtect Web Clientのアップデート

最新バージョンのXProtect Web Clientで作業するには、システム管理者にXProtect Mobile Serverサービスを更新するように依頼してください。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systemsはオープン プラットフォームの監視カメラ管理ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。は、世界の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestone Systemsのソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成します。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

